

Oracle® Secure Global Desktop

version 4.6
のプラットフォームサポートおよびリリースノート

ORACLE®

Part No. 821-2524-10
2010 年 8 月 , Revision 01

Copyright © 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。



Please
Recycle



Adobe PostScript

目次

はじめに ix

1. 新機能および変更点 1

version 4.60 の新機能 1

アレイフェイルオーバー後の自動回復 2

動的起動 2

Active Directory と LDAP の拡張機能 3

動的なドライブマッピング 4

Windows クライアントドライブマッピング 4

Windows アプリケーションを設定するための新しい属性 5

アプリケーションの負荷分散のための新しい属性 5

Windows アプリケーションでの 32-ビットの色のサポート 6

「SSH のダウングレードを許可」属性 6

version 4.50 の新機能 6

SGD Gateway の概要 7

SGD Gateway のインストール 7

SGD Gateway のアーキテクチャー 7

SGD Gateway 用のコマンド 8

アプリケーションレベルでのデバイス設定 8

アレイフェイルオーバー 9

シームレスウィンドウのローカルウィンドウ階層	9
ドイツ語のサポート	9
Novell eDirectory のサポート	10
version 4.41 の新機能	10
SGD サーバーをセキュリティー保護するための新コマンド	10
キオスクモードアプリケーションのプルダウンヘッダー	11
サービスタグのサポート	12
Active Directory 認証のログフィルタ	12
クライアント証明書なしの Active Directory SSL セキュリティー	12
version 4.60 での変更点	12
アレイの時刻同期報告の改良	13
Citrix ICA プロトコルが Windows アプリケーションで使用できない	13
アプリケーションの開始時刻が Webtop に表示される	14
「ユーザーセッションのアイドルタイムアウト」属性	14
Web ページのセキュリティーの向上	14
アラビア語とヘブライ語のキーボードのサポート	15
UNIX プラットフォームアプリケーションの入力方式	15
UNIX オーディオと SGD 拡張モジュールのバージョン	16
DNS 名の警告メッセージ	16
Syslog のメッセージフォーマットの変更	16
Windows アプリケーションの新しいデフォルト PDF プリンタドライバ	16
tarantella start および tarantella stop コマンドの変更	17
SGD ターミナルサービスクライアントの新しい名前	17
セキュリティー保護された SOAP 接続が不要	17
version 4.50 での変更点	17
My Desktop から印刷を再開するオプション	18
tarantella security enable コマンドの変更	18
Web サービスの変更	19

「キオスクモードのエスケープ」属性	19
Evince Document Viewer のサポート	19
SGD ターミナルサービスクライアントの新しい <code>-remoteaudio</code> オプション	19
Administration Console の DNS 検索用設定パラメータ	20
version 4.41 での変更点	21
SGD サーバーのコマンド行の変更	21
My Desktop リンク	22
tarantella security start および tarantella security stop コマンドの変更	22
tarantella status コマンドの変更	23
アレイ内のセキュア通信の有効化	23
SGD サーバー証明書の交換	23
tarantella array コマンドのパフォーマンス改善	23
2. システム要件とサポート	25
SGD サーバーの要件とサポート	25
SGD のハードウェア要件	26
SGD でサポートされるインストールプラットフォーム	26
オペレーティングシステムの変更	27
仮想化のサポート	28
サポートされなくなった SGD インストールプラットフォーム	28
Java テクノロジーのバージョン	29
必要なユーザーと特権	29
ネットワークの要件	30
時刻の同期	31
SGD Web サーバー	32
サポートされる認証機構	32
Active Directory のサポート対象バージョン	32
サポートされる LDAP ディレクトリ	33

サポートされている SecurID バージョン	33
SSL のサポート	33
印刷サポート	34
クライアントデバイスの要件とサポート	35
サポートされるクライアントプラットフォーム	35
仮想化のサポート	37
サポートされなくなった Client プラットフォーム	37
サポートされているプロキシサーバー	37
PDF 印刷のサポート	38
サポートされるスマートカード	38
SGD Gateway の要件とサポート	39
SGD Gateway でサポートされるインストールプラットフォーム	39
仮想化のサポート	39
サポートされなくなった Gateway インストールプラットフォーム	40
SGD Gateway の SGD サーバー要件	40
Apache Web サーバー	40
SSL 接続でサポートされる暗号化方式群	41
アプリケーション要件とサポート	41
サポートされるアプリケーション	42
SGD 拡張モジュールでサポートされるインストールプラットフォーム	42
仮想化のサポート	43
SGD 拡張モジュールでサポートされなくなったインストールプラットフォーム	44
Microsoft Windows ターミナルサービス	44
オーディオの音質	45
発色数	45
暗号化レベル	46
トランスポート層セキュリティ	46
X アプリケーションと文字型アプリケーション	46

サポートされている X の拡張機能	46
文字型アプリケーション	47
サポートおよびサポート終了のお知らせ	48
非推奨機能	49
3. 既知の問題、バグ修正、およびドキュメントの問題	51
既知のバグと問題	51
6456278 - root ユーザーで統合モードが動作しない	51
6482912 - SGD Client が自動的にインストールされない	52
6555834 - Java™ テクノロジーがブラウザでは有効になっているが、クライアントデバイスにインストールされていない	52
6598048 - Windows アプリケーションでカナダ系フランス語用キーボードが正しくマッピングされない	52
6665330 - MyDesktop を使って表示された Java Desktop System セッションから VirtualBox™ ソフトウェアを起動すると、フォントエラーが発生する	53
6801579 - Microsoft Windows クライアントデバイス上の Solaris OS アプリケーションでかなモードが使用できない	53
6809365 - アプリケーションの起動エラーとユーザーの DN 内の引用符	54
6831480 - バックアッププライマリリストコマンドがエラーを返す	54
6863153 - 再配置された Windows デスクトップセッションで HyperTerminal アプリケーションがハングする	54
6921995 - Java テクノロジーが使用できないときに負荷分散 JSP が動作しない	55
6937146 - 64 ビット Linux アプリケーションサーバーでホストされる X アプリケーションでオーディオが使用できない	55
6942981 - Solaris 10 OS Trusted Extensions でアプリケーションの起動に時間がかかる	56
6957820 - Windows アプリケーションでスマートカード認証を使用すると、SGD Client がハングする	57
6961236 - Tomcat のログでのエラーメッセージ	57
6962970 - Windows クライアントデバイスで複数の CAL が使用される	57

6963320 – SGD Gateway version 4.5 またはアップグレードされた SGD Gateway version 4.6 を使用して SGD に接続できない	58
6969404 – Solaris 10 OS プラットフォームでの PDF 印刷の問題	58
6970615 – X アプリケーションで SecurID 認証が失敗する	59
6974464 – Ubuntu クライアントでのキオスクモードの表示の問題	59
6979110 – ローカライズされたドキュメントが表示されない	59
Sun Type 7 日本語キーボードの問題	60
「スタート」メニューの項目がアルファベット順に表示されない	60
画面解像度が高い場合に Microsoft Windows Server 2003 アプリケーションのカラー発色数が 8 ビットに制限される	60
version 4.60 で修正されたバグ	61
version 4.50 で修正されたバグ	70
version 4.41 で修正されたバグ	78
version 4.60 でのドキュメントの問題	84
ドキュメントに含まれる、廃止された --force オプション	84
「SGD Remote Desktop Client」の節の修正	85
X プロトコルエンジンのポートの競合を回避する	85
--suffix-mappings オプションのドキュメントの修正	85
tarantella object new_windowsapp コマンドの修正	86
tarantella config reload コマンドのドキュメント	86
tarantella config reload	86
形式	87
説明	87
使用例	87
「Windows Audio Sound Quality (Windows のオーディオの音質)」属性の修正	87
「Upgrading the SGD Gateway」の修正	87
印刷のトラブルシューティングトピックの修正	88

はじめに

『 *Oracle Secure Global Desktop 4.6 Platform Support and Release Notes* 』では、このバージョンの **Oracle Secure Global Desktop (SGD)** のシステム要件、サポート、新機能、および変更点について説明します。このマニュアルはシステム管理者向けに記述されています。

システムコマンドの使用法

このマニュアルには、システムのシャットダウン、システムのブート、デバイスの設定といった基本的な **UNIX®** システムのコマンドや手順に関する情報は記載されていない場合があります。このような情報については、使用しているシステムのマニュアルを参照してください。ただし、それぞれの **SGD** コマンドに関する情報はこのマニュアルに記載されています。

シェルプロンプト

シェル	プロンプト
C シェル	<i>machine-name%</i>
C シェルスーパーユーザー	<i>machine-name#</i>
Bourne シェルおよび Korn シェル	\$
Bourne シェルおよび Korn シェルスーパーユーザー	#

表記上の規則

字体*	意味	使用例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、およびディレクトリ名を示します。または、画面上のコンピュータ出力を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	% su Password:
AaBbCc123	書名、新規語や新規用語、強調する語句を示します。コマンド行の変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	『ユーザーガイド』の第 6 章を参照してください。 これらはクラスオプションと呼ばれます。 ファイルを削除するには、 rm <i>filename</i> と入力します。

* 使用しているブラウザの設定がこれらの設定と異なっている場合もあります。

関連マニュアル

次の表は、この製品に関するマニュアルの一覧を示しています。オンラインマニュアルは、次のサイトで参照できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1706.5>

アプリケーション	タイトル	Part Number	形式	ロケーション
インストール	Oracle Secure Global Desktop 4.6 インストールガイド	821-2162	HTML PDF	オンライン DVD メディアおよびオンライン
管理	Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド	821-2167	HTML PDF	オンライン
ユーザー	Oracle Secure Global Desktop 4.6 ユーザーガイド	821-2157	HTML PDF	オンライン
管理	Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド	821-2166	HTML PDF	オンライン

マニュアルのフィードバック

このマニュアルに関するコメントは、<http://docs.sun.com> で Feedback[+] リンクをクリックして送付してください。フィードバックには、次のように、マニュアルのタイトルと **Part Number** を含めるようにしてください。

Oracle Secure Global Desktop 4.6 Platform Support and Release Notes 、Part Number 821-2524

第1章

新機能および変更点

この章では、Oracle Secure Global Desktop (SGD) version 4.60 、 4.50 、および 4.41 の新機能および変更点について説明します。

この章の内容は次のとおりです。

- 1 ページの「 [version 4.60 の新機能](#) 」
 - 6 ページの「 [version 4.50 の新機能](#) 」
 - 10 ページの「 [version 4.41 の新機能](#) 」
 - 12 ページの「 [version 4.60 での変更点](#) 」
 - 17 ページの「 [version 4.50 での変更点](#) 」
 - 21 ページの「 [version 4.41 での変更点](#) 」
-

version 4.60 の新機能

ここでは、SGD version 4.60 リリースの新機能について説明します。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- 2 ページの「 [アレイフェイルオーバー後の自動回復](#) 」
- 2 ページの「 [動的起動](#) 」
- 3 ページの「 [Active Directory と LDAP の拡張機能](#) 」
- 4 ページの「 [動的なドライブマッピング](#) 」
- 4 ページの「 [Windows クライアントドライブマッピング](#) 」
- 5 ページの「 [Windows アプリケーションを設定するための新しい属性](#) 」
- 5 ページの「 [アプリケーションの負荷分散のための新しい属性](#) 」
- 6 ページの「 [Windows アプリケーションでの 32-ビットの色のサポート](#) 」
- 6 ページの「 [SSH のダウングレードを許可](#) 属性 」

アレイフェイルオーバー後の自動回復

このリリースでは、フェイルオーバー後のアレイの自動回復がサポートされています。

version 4.50 では、フェイルオーバー後、元の主サーバーがアレイに再結合されず、元のアレイ形成を手動で再作成する必要がありました。このリリースでは、元のアレイ形成はデフォルトで自動的に再作成されます。

元のアレイ形成の回復の前のフェイルオーバーのプロセスはアレイ復元と呼ばれます。アレイ復元を設定するには、**SGD Administration Console** の新しい「**Global Settings**」→「**Resilience**」タブを使用します。

アレイ復元については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

動的起動

動的起動は、ユーザーがアプリケーションを起動したときに適用される実行時の変更を表すために使用される用語です。通常、実行時の変更により、ユーザーは、アプリケーションを実行するアプリケーションサーバーを選択したり、起動されるアプリケーションを選択したり、その両方を選択したりすることができます。

動的起動のために、次の新しいオブジェクトタイプが導入されています。

- 動的アプリケーションサーバー
- 動的アプリケーション

`tarantella object new_host` コマンドが拡張され、動的アプリケーションサーバーオブジェクトを作成するためのサポートが組み込まれました。

動的アプリケーションオブジェクトを作成および設定するために、次のコマンドが導入されています。

- `tarantella object new_dynamicapp`
- `tarantella object add_mapping`
- `tarantella object remove_mapping`

クライアントオーバーライドが拡張され、パスワードキャッシュなどの動的起動機能がサポートされるようになりました。

動的起動の設定方法については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

Active Directory と LDAP の拡張機能

version 4.6 には、SGD を Active Directory および LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) ディレクトリに統合するための重要な拡張機能とパフォーマンスの向上が組み込まれています。

Active Directory および LDAP ディレクトリに対して、SGD がパスワードの有効期限を処理する方法の拡張機能があります。次を行うように SGD を設定できるようになりました。

- Web トップに警告メッセージを表示し、パスワードの有効期限が近付いていることをユーザーに通知する
- 認証を拒否し、次のログイン時にパスワードのリセットをユーザーに強制します。

Active Directory に対して、次の拡張機能を使用して、SGD が LDAP 情報を検出する方法を調整できます。

- **サイト認識** – SGD がサイト情報を検出したり、サイト情報で設定されたりしている場合、そのサイトに適した Active Directory サーバーのみを照会します。
- **ホワイトリスト** – ホワイトリストは、LDAP クエリーで常に使用されるグローバルカタログサーバーのリストです。ホワイトリストに含まれるサーバーのみが LDAP クエリーで使用されます。
- **ブラックリスト** – ブラックリストは、LDAP クエリーで使用されない Active Directory サーバーのリストです。ブラックリストは、サイトやホワイトリストなどの他の設定を置き換えます。
- **グローバルカタログのみを検索** – SGD は、ドメインコントローラと通信するのではなく、グローバルカタログからのみユーザー情報を検索します。

ほかに、Active Directory および LDAP ディレクトリへの接続を調整するための設定も用意されています。

以前のリリースでは、Active Directory や LDAP の設定はグローバルに適用されてきました。今回のリリースで、柔軟性を向上させるために、サービスオブジェクトが導入されています。サービスオブジェクトは、ディレクトリサービス設定のグループで、1 つ以上の LDAP ディレクトリまたは Active Directory フォレストに適用できます。サービスオブジェクトは、SGD Administration Console の「Global Settings」→「Service Objects」タブ、または新しい `tarantella service` コマンドで作成および管理できます。Administration Console では、一般的に使用される設定のみ行うことができます。

ユーザーログインをフィルタするコマンド行オプションと LDAP グループ検索を調整するコマンド行オプションは、ほとんどが変更されました。また、LDAP グループのメンバーシップに基づいてユーザーログインをフィルタ (拒否または許可) することができるようになりました。

LDAP グループデータのキャッシュへの書き込みを改良するために、`tarantella cache` コマンドにオプションが追加されました。--populate オプションは、LDAP グループおよび LDAP グループメンバーシップ情報をキャッシュに追加します。--refresh オプションは、LDAP グループの現在のメンバーシップでキャッシュを更新します。

サービスオブジェクトを使用してディレクトリサービスの設定を調整する方法については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

動的なドライブマッピング

このリリースでは、ユーザーセッション中に取り外し可能なストレージデバイスの「ホットプラグ機能」がサポートされています。この機能は動的なドライブマッピングと呼ばれます。

SGD サーバーの動的なドライブマッピングは、デフォルトでは有効になっています。動的なドライブマッピングを無効または有効にするには、「`Dynamic Drive Mapping` (動的なドライブマッピング)」(`--array-dyndevice`) 属性を使用します。

UNIX® および Linux プラットフォームクライアントデバイス上で使用可能なドライブの設定に使用する `native-cdm-config` ファイルに、取り外し可能なドライブで監視される、システムのデフォルトの場所のリストが追加されました。以前のバージョンの SGD からアップグレードしたユーザーは、アップグレードされた SGD サーバーに接続する前に、既存の `native-cdm-config` ファイルの名前を変更する必要があります。アップグレードされたサーバーへの SGD Client の初回接続時に、システムのデフォルトの場所が含まれる新しい `native-cdm-config` ファイルが自動的に作成されます。バックアップファイルにあるカスタム設定はすべて、新しいファイルにマージできます。

アレイ復元については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

Windows クライアントドライブマッピング

このリリースでは、Server Message Block (SMB) の代わりに Remote Desktop Protocol (RDP) を使用する、Windows アプリケーション用のクライアントドライブマッピング (Client Drive Mapping、CDM) が実装されています。その結果、CDM サービスを提供するために、Windows アプリケーションサーバー上に SGD 拡張モジュールをインストールする必要がありません。Windows アプリケーション用 CDM の使用時には、アプリケーションサーバーのドライブ文字が表示されなくなります。

Windows CDM は、UNIX プラットフォーム用 CDM とは別に有効にできるようになっています。このために、2 つの新しい属性、「Windows Client Drive Mapping (Windows クライアントドライブマッピング) 」(--array-windowscdm) と「Unix Client Drive Mapping (Unix クライアントドライブマッピング) 」(--array-unixcdm) が導入されています。属性は、アレイ内のすべての SGD サーバーに適用されます。

Windows アプリケーション用 CDM の設定時に、CDM の再起動は必要ありません。その結果、tarantella start cdm および tarantella stop cdm コマンドが UNIX プラットフォームアプリケーション用の CDM にのみ適用可能になりました。

SGD サーバーとアプリケーションサーバーの間の接続に使用されるポートが、次のように変更されました。

- TCP ポート 139 は、以前はすべての CDM サービスに使用されていました。このポートは、UNIX プラットフォームアプリケーション用の CDM にのみ使用されるようになりました。
- TCP ポート 137 は、SGD で使用されなくなりました。

次の CDM 属性が、このリリースでは非推奨になりました。

- 「Client Drive Mapping (クライアントドライブマッピング) 」(--array-cdm)
- 「Windows Internet Name Service (WINS) 」(--array-cdm-wins)
- 「Fallback Drive Search (代替ドライブ検索) 」(--array-cdm-fallbackdrive)

Windows アプリケーションを設定するための新しい属性

Windows アプリケーションを設定するための新しい属性が導入されています。これらの属性は、「SGD Remote Desktop Client (SGD リモートデスクトップクライアント) 」(ttatssc コマンドとも呼ばれる) のコマンドオプションに対応します。

これまで、ttatssc コマンドオプションは、Windows アプリケーションオブジェクトの「Arguments for Protocol (プロトコルの引数) 」(--protoargs) 属性を使用して設定されていました。この方法は、対応する Windows アプリケーション属性のない、それらの ttatssc オプションに対して、引き続きサポートされます。

新しい属性およびそれらの同等な ttatssc コマンドオプションについては、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』を参照してください。

アプリケーションの負荷分散のための新しい属性

アプリケーションサーバーをフィルタするための新しいアプリケーションサーバーオブジェクト属性が導入されています。

「最大数」(--maxcount) 属性は、アプリケーションサーバーで同時に実行できる、SGD アプリケーションセッションの最大数を指定します。

「ユーザー割り当て」(--userassign) 属性は、アプリケーションサーバーでアプリケーションを実行できるユーザーを指定します。

これらの属性は個別または一緒に使用して、ユーザーに対してアプリケーションを実行できるアプリケーションサーバーを制御することができます。

Windows アプリケーションでの 32- ビットの色のサポート

SGD は Windows Terminal Server セッションで 32- ビットの発色数をサポートするようになりました。

32- ビットは Windows Vista 、 Windows Server 2008 、 Windows Server 2008R2 、および Windows 7 プラットフォームで使用可能です。クライアントデバイスは 32- ビットの色を表示する必要があります。

「 SSH のダウングレードを許可 」属性

以前のリリースでは、SSH 接続を使用して SGD から X アプリケーションを表示するには、X11 転送を有効にする必要がありました。

X11 転送が使用できないときに X アプリケーションの表示を有効にするために、X アプリケーションオブジェクトの「 SSH のダウングレードを許可 」(--allowsshdngrade) 属性が導入されています。

この属性が有効になっていて X11 転送が機能していないか設定されていない場合、SGD は標準のセキュリティー保護されていない X11 接続を使用してアプリケーションを表示しようとします。設定によっては、ユーザーがダウングレードを受け入れるように求められる場合があります。

version 4.50 の新機能

ここでは、SGD version 4.50 リリースの新機能について説明します。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- [7 ページの「 SGD Gateway の概要 」](#)
- [8 ページの「 アプリケーションレベルでのデバイス設定 」](#)

- 9 ページの「アレイフェイルオーバー」
- 9 ページの「シームレスウィンドウのローカルウィンドウ階層」
- 9 ページの「ドイツ語のサポート」
- 10 ページの「Novell eDirectory のサポート」

SGD Gateway の概要

このリリースでは、Oracle Secure Global Desktop Gateway (SGD Gateway) が導入されました。

SGD Gateway は、非武装ゾーン (DMZ) で SGD アレイの前に配備されるように設計されたプロキシサーバーです。これにより、組織の内部ネットワーク上に SGD アレイを配置できるようになります。また、アレイ内の SGD サーバーに接続する前に、すべての接続を DMZ で認証できます。

ファイアウォール越え (ファイアウォール転送とも呼ばれる) を使用して SGD サーバーを実行する代わりに、SGD Gateway を使用できます。

SGD Gateway はハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) 接続の負荷分散を管理するので、SGD に含まれている JavaServer Pages™ (JSP™) テクノロジーの負荷分散ページを使用する必要はありません。

SGD Gateway ソフトウェアは SGD ディストリビューションに含まれています。

SGD Gateway をインストール、設定、および使用するための手順については、*Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド* を参照してください。このドキュメントには、サポートされるプラットフォームの詳細も記述されています。

SGD Gateway のインストール

SGD Gateway をインストールするには、SGD Web サーバーの開始画面で「Oracle Secure Global Desktop Gateway のインストール」リンクをクリックし、画面に表示される指示に従います。

デフォルトでは、SGD Gateway は SGD Gateway ホストの /opt/SUNWsgdg ディレクトリにインストールされます。

SGD Gateway のアーキテクチャー

SGD Gateway は次のコンポーネントで構成されます。

- **ルーティングプロキシ**。AIP (Adaptive Internet Protocol) データ接続を SGD サーバーにルーティングする、Java™ テクノロジーベースのアプリケーションです。

ルーティングプロキシのキーストアには、SGD Gateway の接続をセキュリティー保護するために使用される証明書と非公開鍵が格納されます。

ルーティングプロキシはルーティングトークンを使用して AIP 接続を管理します。ルーティングトークンは、経路の送信元および送信先の SGD サーバーを識別する、署名され暗号化されたメッセージです。

- **逆プロキシ**。逆プロキシモードで動作するように設定された Apache Web サーバーです。

逆プロキシは HTTP 接続の負荷分散も実行します。

SGD Gateway のアーキテクチャーと機能の詳細については、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド』の付録 A を参照してください。

SGD Gateway 用のコマンド

SGD Gateway 用の新しいコマンドが次のように導入されています。

- `gateway - gateway` コマンドは、SGD Gateway の制御と設定に使用します。
このコマンドは SGD Gateway ホスト上で実行します。
- `tarantella gateway - tarantella gateway` コマンドは、SGD アレイで使用するゲートウェイを登録するために使用します。
このコマンドは SGD アレイ上で実行します。

新しい属性 `--security-gateway` は、SGD アレイに対してどのクライアント接続で SGD Gateway を使用するかを設定します。

これらのコマンド行の変更の詳細については、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド』の付録 B を参照してください。

アプリケーションレベルでのデバイス設定

このリリースでは、アプリケーションレベルでのデバイス設定が可能です。
Windows アプリケーションの場合、SGD 管理者は CDM と印刷を設定できます。

Windows アプリケーションオブジェクトに対する CDM と印刷の設定内容は、ユーザープロファイルオブジェクト、組織単位オブジェクト、および組織オブジェクトに対する設定内容より優先されます。Windows アプリケーションの優先順位は、Windows アプリケーション → ユーザープロファイル → 組織単位 → 組織となります。

すべてのプラットフォームの CDM において、マップされたクライアントドライブのアクセス権は、ドライブ名のあとの括弧内に示されます。(rw) は読み取り / 書き込みアクセス権を意味し、(ro) は読み取り専用アクセス権を意味します。たとえば、Windows デスクトップセッションでは、ファイルの保存ダイアログと「マイ コンピュータ」ウィンドウにアクセス権が表示されます。

アレイフェイルオーバー

このリリースでは、「アレイフェイルオーバー」と呼ばれる新機能が追加されました。SGD アレイのアレイフェイルオーバーが有効になっている場合、プライマリサーバーが使用不可になるとアレイは自動的に自己修復を行います。

アレイフェイルオーバーでは、アレイ内のセカンダリサーバーが自動的に昇格してプライマリサーバーになります。

SGD アレイのアレイフェイルオーバーは、デフォルトでは無効になっています。SGD アレイのアレイフェイルオーバーを有効にするには、アレイ内の任意の SGD サーバーで次のコマンドを実行します。

```
$ tarantella config edit --array-failoverenabled 1
```

SGD アレイに対するアレイフェイルオーバーの設定の詳細については、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』を参照してください。

シームレスウィンドウのローカルウィンドウ階層

一部の Borland アプリケーションとの互換性を確保するために、Windows アプリケーションの新しい属性「SWM ローカルウィンドウ階層」(--swmopts) が導入されています。この属性が有効なのは、「ウィンドウタイプ」が「シームレスウィンドウ」モードに設定されているアプリケーションだけです。アプリケーションウィンドウのタスクバーへの最小化やタスクバーからの最大化に関する問題が発生している場合に、この属性を使用します。

対応するコマンドオプション -swmopts が SGD ターミナルサービスクライアントプログラム (ttatssc) に追加されています。

ドイツ語のサポート

このリリースでは、ドイツ語のサポートが追加されました。

ドイツ語の Webtop 、Administration Console 、および SGD Client クライアントが使用可能です。マニュアルはドイツ語に翻訳されていません。

Novell eDirectory のサポート

Novell eDirectory version 8.8 以降が、LDAP ディレクトリサーバーとしてサポートされるようになりました。

デフォルトでは、Novell eDirectory の場合、パスワードを含む LDAP の単純バインドがすべて暗号化される必要があります。パスワードを含む単純バインドを SGD で使用するには、次のどちらかの操作を実行する必要があります。

- `ldaps://` URL (Uniform Resource Locator) を入力して、eDirectory へのセキュリティー保護された接続を使用するように SGD を設定します
- eDirectory で LDAP グループオブジェクトを設定し、単純バインドに対する TLS (Transport Layer Security) を無効にします

version 4.41 の新機能

ここでは、SGD version 4.41 リリースの新機能について説明します。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- [10 ページの「SGD サーバーをセキュリティー保護するための新コマンド」](#)
- [11 ページの「キオスクモードアプリケーションのプルダウンヘッダー」](#)
- [12 ページの「サービスタグのサポート」](#)
- [12 ページの「Active Directory 認証のログフィルタ」](#)
- [12 ページの「クライアント証明書なしの Active Directory SSL セキュリティー」](#)

SGD サーバーをセキュリティー保護するための新コマンド

SGD 管理者は、SGD サーバーのセキュリティーを、単一の `tarantella` コマンドを使って自動設定できるようになりました。利用可能になったコマンドは次のとおりです。

- `tarantella security enable` - SGD サーバーをセキュリティー保護します。
- `tarantella security disable` - SGD サーバーのセキュリティー設定を、`tarantella security enable` を実行する前の状態に戻します。

`tarantella security enable` コマンドは、次の設定を行います。

- サーバー証明書をインストールします

- SGD Web サーバーへの HTTPS (HTTP over Secure Sockets Layer) 接続を有効にします
- ファイアウォール越えに対応するように SGD サーバーを設定します
- SGD サーバーへの SOAP (Simple Object Access Protocol) 接続をセキュリティー保護します
- SGD セキュリティーサービスを有効にします
- SGD サーバーと SGD Web サーバーを再起動します

これらのコマンドには次の制限が適用されます。

- SGD サーバーがアレイに含まれてはいけません。
- SGD サーバー上には SGD の「新規」インストールが存在している必要があります。SGD サーバー上のこのソフトウェアをアップグレードする場合には、これらのコマンドを使用できません。

tarantella security enable および tarantella security disable コマンドの詳細については、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』を参照してください。

キオスクモードアプリケーションのプルダウンヘッダー

新しい属性(--allowkioskescape)は、キオスクモードで実行されている Windows アプリケーションおよび X アプリケーションのプルダウンヘッダーを有効にします。

プルダウンヘッダーには、アプリケーションウィンドウを最小化したり閉じたりするためのアイコンが含まれています。

この属性が有効になっている場合にプルダウンヘッダーを表示するには、アプリケーションウィンドウの上にマウスを移動します。

プルダウンヘッダーを有効化または無効化するには、Windows アプリケーションまたは X アプリケーションオブジェクトのこの属性を設定します。次に例を示します。

```
$ tarantella object edit \
--name "o=applications/cn=IndigoProject" --allowkioskescape true
```

注 - 現在のところ、この属性はコマンド行からのみ設定できます。

サービスタグのサポート

SGD version 4.41 には Sun Service Tags のサポートが含まれています。SGD ホスト上に Sun Service Tags ソフトウェアが存在している場合、SGD はインストール時に、新しいサービスタグを自動的に作成および登録します。

サービスタグの登録は `tarantella start` が実行されるたびに試みられますが、いったん成功すると、その後は二度と登録が行われなくなります。つまり、SGD のインストール時に Service Tags ソフトウェアが存在していなくても、あとになって Service Tags ソフトウェアを SGD ホストにインストールすれば、SGD はそのソフトウェアを登録します。

Sun Service Tags については、
(<http://www.sun.com/bigadmin/hubs/connection/tasks/register.jsp>)
を参照してください。

Active Directory 認証のログフィルタ

新たに追加された `server/ad` ログフィルタを使えば、Active Directory 認証に関するエラーをロギングできます。

たとえば、このログフィルタを使えば、ある Active Directory ユーザーがどうして SGD にログインできないのかを確認できます。

クライアント証明書なしの Active Directory SSL セキュリティー

SGD version 4.41 では、Active Directory サーバーへの接続時に、クライアント証明書を使用せずに Secure Sockets Layer (SSL) セキュリティーを使用できます。これは、クライアント証明書が不要であるか選択可能なオプションではないような環境で、SGD サーバーがセキュリティ要件を満たせることを意味します。

この機能の設定方法の詳細については、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』を参照してください。

version 4.60 での変更点

ここでは、SGD version 4.50 リリース以降に変更された点について説明します。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- 13 ページの「アレイの時刻同期報告の改良」
- 13 ページの「Citrix ICA プロトコルが Windows アプリケーションで使用できない」
- 14 ページの「アプリケーションの開始時刻が Webtop に表示される」
- 14 ページの「「ユーザーセッションのアイドルタイムアウト」属性」
- 14 ページの「Web ページのセキュリティの向上」
- 15 ページの「アラビア語とヘブライ語のキーボードのサポート」
- 15 ページの「UNIX プラットフォームアプリケーションの入力方式」
- 16 ページの「UNIX オーディオと SGD 拡張モジュールのバージョン」
- 16 ページの「DNS 名の警告メッセージ」
- 16 ページの「Syslog のメッセージフォーマットの変更」
- 16 ページの「Windows アプリケーションの新しいデフォルト PDF プリンタドライバ」
- 17 ページの「tarantella start および tarantella stop コマンドの変更」
- 17 ページの「SGD ターミナルサービスクライアントの新しい名前」
- 17 ページの「セキュリティ保護された SOAP 接続が不要」

アレイの時刻同期報告の改良

アレイを連結するサーバー上の時刻がアレイ内の他のサーバーと同期している場合のみ、アレイの連結操作が許可されるようになりました。時間差が 1 分を超えている場合、アレイの連結操作は失敗します。

`tarantella status` コマンドが、アレイの時刻同期の問題をすべて報告するようになりました。このコマンドの `--byserver` オプションは、アレイ内の各サーバー上の時刻設定を表示します。

アレイでの時刻の同期がずれている場合は、Administration Console の「Secure Global Desktop サーバー」タブで警告メッセージが表示されます。

時間情報プロトコル (NTP) ソフトウェアまたは `rdate` コマンドを使用して、すべての SGD ホストの時刻を確実に同期させてください。

Citrix ICA プロトコルが Windows アプリケーションで使用できない

このリリースでは、Citrix ICA が Windows アプリケーションの接続プロトコルとしてサポートされていません。Windows アプリケーションは、デフォルトで Microsoft RDP プロトコルを使用するように設定されるようになりました。

代わりに、Citrix ICA クライアントを X アプリケーションオブジェクトとして設定できます。

アプリケーションの開始時刻が Webtop に表示される

実行中のアプリケーションの Webtop リンクに、アプリケーションが開始された日時が表示されるようになりました。

「ユーザーセッションのアイドルタイムアウト」属性

Administration Console の「Global Settings」→「Communication」タブを使用して、「ユーザーセッションのアイドルタイムアウト」(`--webtop-session-idle-timeout`) 属性を設定できるようになりました。以前、この属性はコマンド行からのみ設定できました。

この属性のコマンド行名は、`--tarantella-config-array-webtopsessionidletimeout` から変更されています。

Web ページのセキュリティーの向上

このリリースでは、SGD の Web ページに対して次のようなセキュリティーの向上が実現されています。

- SGD のログインページと Administration Console のログインページに対して、ユーザー入力の自動入力機能を無効にできます。自動入力機能を無効にすることによって、ユーザー名やパスワードなどの機密性のあるデータのブラウザキャッシュが行われなくなります。

自動入力機能を無効にするには、`/opt/tarantella/webserver/tomcat/tomcat-version/conf/web.xml` ファイルを編集し、`disableloginautocomplete` パラメータの値を `true` に変更します。このパラメータは、デフォルトでは `false` です。変更後、SGD Web サーバーを再起動します。

- クロスフレームスクリプト (Cross-Frame Scripting、XFS) の脆弱性が修正されました。XFS は、ユーザーの資格情報を盗むのに使用される場合があります。

この変更は、ブラウザで JavaScript™ ソフトウェアが有効になっている場合にのみ、SGD のログインページにアクセスできることを意味します。JavaScript が有効になっていない場合、アクセスは拒否され、警告メッセージが表示されます。

注 - JavaScript が有効になっている状態で Internet Explorer を使用すると、ログインページが表示される前にこの警告メッセージが一時的に表示される場合があります。

- セキュリティー保護された接続を使用している場合、ユーザーセッションの cookie がセキュリティー保護されたものとしてマークされるようになりました。これにより、セキュリティー保護されていない接続での cookie の転送が妨げられます。
- SGD Web サーバーでは、ディレクトリインデックスがデフォルトで無効になっています。この変更により、ユーザーは SGD Web サーバー上のディレクトリを参照できないため、セキュリティーが向上します。

アラビア語とヘブライ語のキーボードのサポート

このリリースでは、アラビア語とヘブライ語のキーボードのサポートが追加されています。

アラビア語 (xarabic.txt) とヘブライ語 (xhebrew.txt) のキーマップファイルは、SGD サーバーの /opt/tarantella/etc/data/keymaps ディレクトリに含まれています。

UNIX プラットフォームアプリケーションの入力方式

SGD は、デフォルトで、C と POSIX を除くすべてのロケールの UNIX プラットフォームアプリケーションの入力方式 (Input Method、IM) として動作するようになりました。

以前のリリースでは、SGD は、日本語、韓国語、および中国語ロケール専用の IM を実行していました。

UNIX オーディオと SGD 拡張モジュールのバージョン

X アプリケーションのオーディオを使用するには、Linux および UNIX アプリケーションサーバーが SGD 拡張モジュールの version 4.6 を実行している必要があります。SGD と SGD 拡張モジュールのバージョンが異なる場合は、UNIX オーディオサービスが正しく動作しないことがあります。

SGD 拡張モジュールのアップグレード手順は、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 インストールガイド』に記載されています。

DNS 名の警告メッセージ

tarantella array join など、SGD サーバーのドメインネームシステム (Domain Name System、DNS) 名を指定する必要があるコマンドでは、完全指定 DNS 名が使用されていない場合に警告メッセージが表示されます。

最良の結果を得るために、常に完全指定 DNS 名を使用してください。

Syslog のメッセージフォーマットの変更

SyslogSink ログハンドラの syslog を使用して記録されるメッセージに、“SSGD ” 識別子文字列が含まれるようになりました。以前は、文字列 “Secure Global Desktop ” が使用されていました。

Windows アプリケーションの新しいデフォルト PDF プリンタドライバ

Windows アプリケーションサーバーからの PDF (Portable Document Format) 印刷に使用されるデフォルトのプリンタドライバが、HP Color LaserJet 2800 Series PS になりました。この変更は、Windows 7 および Windows Server 2008 アプリケーションサーバーをサポートするために行われました。

以前のリリースでは、デフォルトの PDF プリンタドライバは HP Color LaserJet 8500 PS でした。このプリンタドライバを使用するインストールからアップグレードすると、SGD は新しいデフォルトのプリンタドライバを使用するように自動的に再設定されます。別のプリンタドライバを使用するように SGD を設定したインストールからアップグレードすると、アップグレード時に既存の設定が保持されます。

Windows Server 2003、Windows Vista、または Windows XP アプリケーションサーバーを使用している場合、新しいデフォルトのプリンタドライバは、マップされていない PDF プリンタになります。

tarantella start および tarantella stop コマンドの変更

tarantella start および tarantella stop コマンドで --force オプションが非推奨になりました。

SGD ターミナルサービスクライアントの新しい名前

SGD ターミナルサービスクライアント (ttatssc コマンドとも呼ばれる) の名前が変更されました。新しい名前は、SGD リモートデスクトップクライアントです。

新しい名前は、Administration Console で使用されます。

セキュリティー保護された SOAP 接続が不要

このリリースでは、SGD サーバーに対するセキュリティー保護された接続を有効にするときに、Webtop からの SOAP 接続のセキュリティーを保護する必要がなくなりました。以前のリリースのように、tarantella security enable コマンドによって SOAP 接続のセキュリティーが自動的に保護されなくなりました。

これは、リスナーイベントが SGD サーバーによって処理される方法が変更されたことによるものです。

version 4.50 での変更点

ここでは、SGD version 4.41 リリース以降に変更された点について説明します。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- 18 ページの「[My Desktop から印刷を再開するオプション](#)」
- 18 ページの「[tarantella security enable コマンドの変更](#)」
- 19 ページの「[Web サービスの変更](#)」
- 19 ページの「[キオスクモードのエスケープ](#)」属性」

- 19 ページの「[Evince Document Viewer のサポート](#)」
- 19 ページの「[SGD ターミナルサービスクライアントの新しい -remoteaudio オプション](#)」
- 20 ページの「[Administration Console の DNS 検索用設定パラメータ](#)」

My Desktop から印刷を再開するオプション

ユーザーが My Desktop にログインしたとき、印刷ジョブを一時停止していた場合は、ブラウザウィンドウにメッセージが表示されるので、印刷を再開することができます。

tarantella security enable コマンドの変更

tarantella security enable コマンドに --firewalltraversal オプションが追加されました。このオプションを使用すると、SGD サーバーをセキュリティ保護する場合にファイアウォール越えを有効にするかどうかを選択できます。

このオプションを指定しなかった場合、ファイアウォール越えがデフォルトで有効になります。

注 - ファイアウォール越えに対応するように設定されている SGD サーバーを SGD Gateway で使用することはできません。

次の例では、指定された SSL 証明書と非公開鍵を使用して SGD サーバーをセキュリティ保護します。この SGD サーバーではファイアウォール越えは有効化されません。

```
# tarantella security enable \  
--certfile /opt/certs/cert \  
--keyfile /opt/keys/key \  
--firewalltraversal off
```

このコマンドオプションの詳細については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

Web サービスの変更

ITarantellaWebtopSession Web サービスに新しいオペレーション endMultiViewSession が追加されました。

`endMultiViewSession` オペレーションはユーザーセッションを終了し、ユーザーをログアウトさせます。ユーザーセッションのすべてのビューが終了します。

注 - ユーザーセッションの「ビュー」は、ユーザーが既存のユーザーセッションに参加したときに作成されます。たとえば、同じクライアントデバイスから **Administration Console** と **SGD Webtop** にログインした場合などです。

`endMultiViewSession` オペレーションは次のように使用します。

```
endMultiViewSession(sessionCookie);
```

ここで、`sessionCookie` はユーザーセッションの **Cookie** です。

「キオスクモードのエスケープ」属性

キオスクモードで実行されている **Windows** アプリケーションおよび **X** アプリケーションのプルダウンヘッダーを有効にする「キオスクモードのエスケープ」(`--allowkioskescape`) 属性を、**Administration Console** を使用して設定できるようになりました。この属性はアプリケーションオブジェクトの「プレゼンテーション」タブにあります。

以前のリリースでは、この属性はコマンド行からのみ設定できました。

Evince Document Viewer のサポート

Linux クライアントプラットフォームで **PDF** 印刷を行うための **Evince Document Viewer** がサポートされるようになりました。

SGD ターミナルサービスクライアントの新しい `-remoteaudio` オプション

このリリースでは、**SGD** ターミナルサービスクライアントに対して、新しいオプション (`-remoteaudio`) が導入されました。**SGD** ターミナルサービスクライアント (`ttatsc` と呼ばれる) は、**SGD** サーバーと **Windows** ターミナルサーバーの間の接続を処理するクライアントプログラムです。

`-remoteaudio` オプションは、オーディオがターミナルサーバーから送信されるかどうかを設定します。このオプションを使用すると、**Microsoft Windows** リモートデスクトップ接続の「リモート コンピュータで再生する」サウンド設定と同じ効果があります。

たとえば、Windows XP デスクトップセッションのリモートサーバーでオーディオを再生するには、Windows アプリケーションオブジェクトの (--protoargs) 属性を次のように設定します。

```
-console -remoteaudio
```

注 - アプリケーションサーバープラットフォームで RDP version 6 以降がサポートされる場合、-console オプションは必要ありません。

Administration Console の DNS 検索用設定パラメータ

このリリースでは、Administration Console で使用される DNS 検索のクラスを設定する、新しい配備記述子パラメータが導入されました。

SGD は、デフォルトでは、DNS 検索に対して ANY クエリークラスを使用します。一部のファイアウォールの設定では、このクラスの DNS 検索はブロックされます。これによって問題が発生する可能性があります。たとえば、Administration Console を使用して Active Directory 認証を設定するときなどです。

すべての DNS 検索に対して IN クエリークラスを使用するように Administration Console を設定するには、Administration Console Web アプリケーションの配備記述子を編集します。配備記述子は次のファイルです。/opt/tarantella/webserver/tomcat/version/sgdadmin/WEB-INF/web.xml

このファイルで、sgd.naming.dns.in_class_only パラメータを true に設定します。

```
<context-param>
  <param-name>sgd.naming.dns.in_class_only</param-name>
  <param-value>true</param-value>
</context-param>
```

web.xml ファイルに加えた変更を有効にするには、SGD サーバーを再起動します。

version 4.41 での変更点

ここでは、SGD version 4.40 リリース以降に変更された点について説明します。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- [21 ページの「 SGD サーバーのコマンド行の変更 」](#)
- [22 ページの「 My Desktop リンク 」](#)
- [22 ページの「 tarantella security start および tarantella security stop コマンドの変更 」](#)
- [23 ページの「 tarantella status コマンドの変更 」](#)
- [23 ページの「 アレイ内のセキュア通信の有効化 」](#)
- [23 ページの「 SGD サーバー証明書の交換 」](#)
- [23 ページの「 tarantella array コマンドのパフォーマンス改善 」](#)

SGD サーバーのコマンド行の変更

SGD サーバーと SGD Web サーバーの制御に使用されるコマンド が変更されました。

SGD Web サーバーの停止、起動、および再起動を行うための次のコマンドが、非推奨になりました。

- `tarantella webserver start`
- `tarantella webserver stop`
- `tarantella webserver restart`

これらのコマンドは、`tarantella start`、`tarantella stop`、および `tarantella restart` コマンドのサブコマンドとして実装されました。

以前のリリースでは、`tarantella start`、`tarantella stop`、および `tarantella restart` コマンドは SGD サーバーを制御していました。これらのコマンドはデフォルトで、SGD サーバーと SGD Web サーバーの両方を制御するようになりました。

`tarantella start`、`tarantella stop`、および `tarantella restart` コマンドの新しいサブコマンドを使えば、SGD サーバー、または SGD Web サーバーの 1 つ以上のコンポーネントのいずれかを起動、停止、または再起動を選択できます。

次の表に、コマンド行の主な変更点をまとめます。

version 4.40 のコマンド	version 4.41 のコマンド
<code>tarantella webserver start</code>	<code>tarantella start webserver</code>
<code>tarantella webserver stop</code>	<code>tarantella stop webserver</code>
<code>tarantella webserver restart</code>	<code>tarantella restart webserver</code>

version 4.40 のコマンド	version 4.41 のコマンド
<code>tarantella start</code>	<code>tarantella start sgd</code>
<code>tarantella stop</code>	<code>tarantella stop sgd</code>
<code>tarantella restart</code>	<code>tarantella restart sgd</code>

これらの改訂されたコマンドの詳細については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

My Desktop リンク

SGD Web サーバーの開始画面に My Desktop リンクが含まれるようになりました。SGD Web サーバーの開始画面は、<http://server.example.com> にあります。ここで、server.example.com は SGD サーバーの名前です。

My Desktop リンクを使用すると、ユーザーは Webtop を表示せずにログインして全画面デスクトップを表示できます。詳細については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

My Desktop リンクを使用することは、My Desktop URL を指定することの代替手段です。My Desktop URL は <http://server.example.com/sgd/mydesktop> です。

tarantella security start および tarantella security stop コマンドの変更

`tarantella security start` および `tarantella security stop` コマンドで、`--array` および `--server` オプションが非推奨になりました。

これは、`tarantella security start` および `tarantella security stop` コマンドが、コマンドの実行元となる SGD サーバーのセキュリティーを設定するためだけに使用できることを意味します。

tarantella status コマンドの変更

アレイに問題がある場合に、アレイの設定に関するより詳しい情報が `tarantella status` コマンドから返されるようになりました。この情報を使えば、アレイの問題を診断および修正できます。

アレイ内のセキュア通信の有効化

以前のリリースでは、あるアレイのアレイ内セキュア通信の有効化は、そのアレイに参加するセカンダリ SGD サーバー上で `tarantella array join` コマンドを実行することによって行われていました。

SGD 4.41 リリースでは、アレイ内セキュア通信を使用する場合は、アレイ内のプライマリ SGD サーバーから `tarantella array join` コマンドを実行する必要があります。

SGD サーバー証明書の交換

SGD 4.41 リリースでは、現在の SGD サーバー証明書に影響を与えずに新しい証明書発行要求 (CSR) を生成できます。

これにより、元の証明書の有効期限が切れようとしているなどの理由により、SGD サーバー証明書を交換することができます。

`tarantella security certrequest` コマンドを使って CSR を生成した場合、非公開キーが `/opt/tarantella/var/tsp/key.pending.pem` ファイル内に格納されるようになりました。

tarantella array コマンドのパフォーマンス改善

`tarantella array` コマンドのパフォーマンスが改善されました。SGD サーバーのアレイの設定が、以前のリリースに比べ、よりすばやいプロセスになりました。

第2章

システム要件とサポート

この章では、Oracle Secure Global Desktop (SGD) version 4.60 のシステム要件とサポートされるプラットフォームについて説明します。

この章の内容は次のとおりです。

- [25 ページの「 SGD サーバーの要件とサポート 」](#)
- [34 ページの「 クライアントデバイスの要件とサポート 」](#)
- [38 ページの「 SGD Gateway の要件とサポート 」](#)
- [41 ページの「 アプリケーション要件とサポート 」](#)
- [48 ページの「 サポートおよびサポート終了のお知らせ 」](#)
- [49 ページの「 非推奨機能 」](#)

SGD サーバーの要件とサポート

このセクションには、次のトピックが含まれます。

- [26 ページの「 SGD のハードウェア要件 」](#)
- [26 ページの「 SGD でサポートされるインストールプラットフォーム 」](#)
- [29 ページの「 Java テクノロジーのバージョン 」](#)
- [29 ページの「 必要なユーザーと特権 」](#)
- [30 ページの「 ネットワークの要件 」](#)
- [31 ページの「 時刻の同期 」](#)
- [31 ページの「 SGD Web サーバー 」](#)
- [32 ページの「 サポートされる認証機構 」](#)
- [33 ページの「 SSL のサポート 」](#)

SGD のハードウェア要件

次に示すハードウェアの要件は、正確なサイズ決定ツールとしてではなく、指針として使用してください。ハードウェア要件の詳細は、Oracle sales office (<http://www.oracle.com/corporate/contact>) にお問い合わせください。

SGD のホストサーバーの要件は、次の項目の合計に基づいて計算できます。

- SGD のインストールと実行に必要となる量
- ホスト上の SGD にログインしてアプリケーションを実行するユーザーごとに必要となる量

SGD をインストールして実行するための要件は次のとおりです。

- 2G バイトの空きディスク容量
- 2G バイトのランダムアクセスメモリー (RAM)
- 1GHz のプロセッサ
- ネットワークインタフェースカード (NIC)

これには、オペレーティングシステム自体に必要なものは含まれていません。また、サーバーが SGD だけに使用されることを前提にしています。

SGD にログインしてアプリケーションを実行するユーザーをサポートするための要件は次のとおりです。

- ユーザーごとに 50M バイト以上
- ユーザーごとに 50MHz



注意 - 実際の CPU (中央演算処理装置) およびメモリー要件は、使用するアプリケーションによって大幅に変わります。

SGD でサポートされるインストールプラットフォーム

次の表に、SGD でサポートされるインストールプラットフォームを示します。

オペレーティングシステム	サポートされるバージョン
Solaris™ Operating System (Solaris OS) (SPARC プラットフォーム上)	Solaris 10 10/09 以降 Trusted Extensions (Solaris 10 10/09 以降)

オペレーティングシステム	サポートされるバージョン
x86 プラットフォーム上の Solaris OS	Solaris 10 10/09 以降 Trusted Extensions (Solaris 10 10/09 以降)
Red Hat Enterprise Linux (32 ビットおよび 64 ビット)	5.5
Oracle Enterprise Linux (32 ビットおよび 64 ビット)	5.5

オペレーティングシステムの変更

オペレーティングシステムの変更がいくつか必要になる場合があります。これらの変更を行わないと、SGD が適切にインストールされない場合や正しく動作しない場合があります。

5250 および 3270 アプリケーション

libXm.so.3 ライブラリは、5250 アプリケーションと 3270 アプリケーションをサポートするために必要です。このライブラリは OpenMotif 2.2 パッケージで提供されています。

Solaris 10 OS

SGD に必要なライブラリを入手するには、エンドユーザー Solaris OS ディストリビューション以上のディストリビューションをインストールする必要があります。それ以外の場合、SGD はインストールされません。

Solaris 10 OS の TCP Fusion 機能により、SGD で使用される一部のローカルソケットで問題が発生する可能性があります。SGD をインストールする前に、次のように TCP Fusion 機能を無効にします。

1. /etc/system ファイルの一番下に次の行を追加します。

```
set ip:do_tcp_fusion = 0x0
```

2. サーバーを再起動します。

Red Hat Enterprise Linux と Oracle Enterprise Linux

Red Hat Enterprise Linux および Oracle Enterprise Linux のデフォルトの /etc/hosts ファイルには、単一のエントリが含まれています。このエントリは、SGD ホストのホスト名を誤ってローカルのループバックアドレス 127.0.0.1 にマップします。

/etc/hosts ファイルを編集してこのマッピングを削除し、SGD ホストの名前を SGD ホストのネットワークインターネットプロトコル (Internet Protocol、IP) アドレスにマップする新規エントリを追加します。SGD ホスト名をローカルのループバック IP アドレスにマップしてはいけません。

仮想化のサポート

SGD でサポートされるインストールプラットフォームは、Type 1 (ベアメタル) ハイパーバイザまたは Type 2 (ホスト) ハイパーバイザでサポートされます。たとえば、Oracle VM VirtualBox、VMWare、Oracle VM Server for SPARC (以前は Sun Logical Domains や LDoms と呼ばれた) などです。

ゾーンへのインストールが Solaris 10 OS でサポートされます。SGD は大域ゾーンまたは 1 つ以上の非大域ゾーンのいずれかにインストールできます。大域ゾーンと非大域ゾーンの両方へのインストールはサポートされていません。

Solaris 10 OS Trusted Extensions プラットフォームでは、SGD をラベル付きゾーンにインストールする必要があります。大域ゾーンには SGD をインストールしないでください。

サポートされなくなった SGD インストールプラットフォーム

次の表に、サポートされなくなった SGD インストールプラットフォームを示します。

SGD のバージョン	サポートされなくなったプラットフォーム
4.60	OpenSolaris (全バージョン) Red Hat Enterprise Linux 5.0 ~ 5.4 Solaris 10 OS 以下 (Solaris 10 5/09 を含む) SUSE Linux Enterprise Server 10
4.50	Solaris 8 OS Solaris 9 OS Red Hat Enterprise Linux 4 Fedora Linux 8 SUSE Linux Enterprise Server 9
4.41	Fedora Linux 7

Java テクノロジーのバージョン

次の表に、SGD に含まれる JDK™ のバージョンを示します。

SGD のバージョン	JDK のバージョン
4.60	1.6.0_21
4.50	1.6.0_13
4.41	1.6.0_05

必要なユーザーと特権

SGD をインストールするには、スーパーユーザー (root) 特権を持っている必要があります。

SGD をインストールする前に、システムに `ttaserv` ユーザーと `ttasys` ユーザー、および `ttaserv` グループが設定されている必要があります。

`ttasys` ユーザーは、SGD サーバーの使用するすべてのファイルおよびプロセスを所有します。`ttaserv` ユーザーは、SGD Web サーバーの使用するすべてのファイルおよびプロセスを所有します。

SGD サーバーの実行には、スーパーユーザー (root) 特権は必要ありません。SGD サーバーは `root` ユーザーで起動し、その後、`ttasys` ユーザーにダウングレードされます。

これらのユーザーおよびグループが存在しない状態でソフトウェアをインストールしようとすると、インストールプログラムはシステムに一切変更を加えずに停止し、実行する必要がある操作をユーザーに通知するメッセージを表示します。このメッセージには、必要なユーザーおよびグループを作成するために実行できるインストールスクリプトの詳細が含まれます。

必要なユーザーおよびグループを手動で作成する必要がある場合の要件は次のとおりです。

- ユーザー名は `ttaserv` および `ttasys` にします。
- グループ名は `ttaserv` にします。
- 任意のユーザー ID (UID) またはグループ ID (GID) を使用できます。UID と GID は異なっていてもかまいません。
- 両方のユーザーが、一次グループとして `ttaserv` を保持する必要があります。
- 両方のユーザーが、`/bin/sh` などの有効なシェルを使用可能でなければなりません。
- 両方のユーザーに「書き込み可能な」ホームディレクトリが必要です。

- セキュリティー保護のために、`passwd -l` コマンドなどを使用してこれらのアカウントをロックしてください。

これらのユーザーを作成する 1 つの方法は、`useradd` および `groupadd` コマンドを使用することです。次に例を示します。

```
# groupadd ttaserv
# useradd -g ttaserv -s /bin/sh -d /home/ttasyys -m ttasyys
# useradd -g ttaserv -s /bin/sh -d /home/ttaserv -m ttaserv
# passwd -l ttasyys
# passwd -l ttaserv
```

ttasyys および ttaserv ユーザーアカウントがシステムに正しく設定されているかどうかを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
# su ttasyys -c "/usr/bin/id -a"
# su ttaserv -c "/usr/bin/id -a"
```

システムが正しく設定されている場合、コマンド出力は次の例のようになります。

```
uid=1002(ttaserv) gid=1000(ttaserv) groups=1000(ttaserv)
uid=1003(ttasyys) gid=1000(ttaserv) groups=1000(ttaserv)
```

ネットワークの要件

SGD で使用するネットワークは、次のように設定する必要があります。主な要件には次のようなものがあります。

- ホストは、すべてのクライアントで解決できるドメインネームシステム (Domain Name System、DNS) エントリを持っている必要があります。
- ホストの DNS 検索と逆検索が常に成功する必要があります。
- すべてのクライアントデバイスが DNS を使用する必要があります。
- SGD をインストールするときに、SGD サーバーに使用する DNS 名の入力を要求されます。DNS 名は、次の要件を満たす必要があります。
 - ファイアウォールを含むネットワークでは、SGD ホストがファイアウォールの「内側」で呼ばれている DNS 名を使用します。
 - 必ず SGD ホストの完全指定の DNS 名を使用します。たとえば、`boston.example.com` などです。

『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』には、SGD が使用するすべてのポートおよび SGD をファイアウォールとともに使用方法に関する詳細な情報が記載されています。一般的に使用されるポートの情報を次に示します。

クライアントデバイスから SGD に、次の TCP ポートで TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) 接続を確立できる必要があります。

- **80** - クライアントデバイスと SGD Web サーバーの間の HTTP (Hypertext Transfer Protocol) 接続に使用されます。ポート番号は、インストール時に選択されたポートによって変わります。
- **443** - クライアントデバイスと SGD Web サーバーの間の HTTPS (HTTP over Secure Sockets Layer) 接続に使用されます。
- **3144** - SGD Client と SGD サーバーの間の標準 (暗号化されない) 接続に使用されます。
- **5307** - SGD Client と SGD サーバーの間のセキュリティー保護された接続に使用されます。セキュア接続では SSL (Secure Sockets Layer) が使用されます。

注 - SGD Client と SGD サーバー間の最初の接続が「常に」セキュリティー保護されるようになりました。ユーザーが SGD にログインしたあと、接続は標準接続にダウングレードされます。SGD の初回インストール時には、SGD に接続するために TCP ポート 3144 および 5307 を開いておく必要があります。常にセキュア接続を使用するよう SGD を設定することもできます。

アプリケーションを実行するには、SGD はアプリケーションサーバーに対して TCP/IP 接続を確立できる必要があります。アプリケーションの種類によって、開く必要のある TCP ポートが決まります。次に例を示します。

- **22** - SSH (Secure Shell) を使う X アプリケーションと文字型アプリケーション用です
- **23** - Telnet を使う Windows アプリケーション、X アプリケーション、および文字型アプリケーション用です
- **3389** - Windows ターミナルサービスを使う Windows アプリケーション用です
- **6010** 以上 - X アプリケーション用です

時刻の同期

SGD では、アレイとは、設定情報を共有する一連の SGD サーバーを指します。アレイ内の SGD サーバーはユーザーセッションとアプリケーションセッションに関する情報を共有するため、SGD ホストの時刻を同期させることが重要です。時間情報プロトコル (NTP) ソフトウェアまたは rdate コマンドを使用して、すべての SGD ホストの時刻を確実に同期させてください。

SGD Web サーバー

SGD Web サーバーは、SGD で使用するために事前設定された、Apache Web サーバーと Tomcat JavaServer Pages™ (JSP™) テクノロジコンテナで構成されます。

SGD Web サーバー は次のコンポーネントで構成されます。

コンポーネント名	SGD version 4.60 コンポーネントのバージョン	SGD version 4.50 コンポーネントのバージョン	SGD version 4.41 コンポーネントのバージョン
Apache HTTP サーバー	2.2.16	2.2.10	2.2.8
OpenSSL	1.0.0a	0.9.8k	0.9.8g
mod_jk	1.2.27	1.2.27	1.2.25
Apache Jakarta Tomcat	6.0.29	6.0.18	5.0.28
Apache Axis	1.4	1.4	1.2

Apache Web サーバーには、すべての標準 Apache モジュールが共有オブジェクトとして含まれています。

Tomcat JSP テクノロジコンテナ用の Java™ Virtual Machine (JVM™) ソフトウェアの最小ヒープサイズは、256M バイトです。

サポートされる認証機構

SGD にアクセスするユーザーを認証するために、次の機構がサポートされています。

- Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) version 3
- Microsoft Active Directory
- ネットワーク情報サービス (NIS)
- Microsoft Windows ドメイン
- RSA SecurID
- Web サーバー認証 (HTTP/HTTPS 基本認証)。公開鍵インフラストラクチャー (PKI) クライアント証明書も含む

Active Directory のサポート対象バージョン

Active Directory 認証と LDAP 認証は、次のバージョンの Active Directory でサポートされます。

- Windows Server 2003
- Windows Server 2003 R2
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 R2

サポートされる LDAP ディレクトリ

SGD では、version 3 の標準 LDAP プロトコルがサポートされます。LDAP 認証は、LDAP version 3 に準拠する任意のディレクトリサーバーとともに使用できます。ただし、SGD は次のディレクトリサーバーのみをサポートします。

- Oracle Directory Server Enterprise Edition version 6.3.1 および 7.0 (以前は Sun Java Directory Server Enterprise Edition)
- Microsoft Active Directory on Windows Server 2003、2003R2、2008、および 2008R2
- Novell eDirectory version 8.8

その他のディレクトリサーバーでも機能する可能性があります、サポートされていません。

サポートされている SecurID バージョン

SGD は、version 4、5、6、および 7 の Authentication Manager (従来の RSA ACE/Server) で動作します。

SGD は、システムが生成した PIN とユーザーが作成した PIN をサポートします。

SSL のサポート

SGD は、TLS バージョン 1.0 と SSL バージョン 3.0 をサポートしています。

SGD は、Privacy Enhanced Mail (PEM) Base 64 で符号化された X.509 証明書をサポートしています。このような証明書は、次のような構造になっています。

```
-----BEGIN CERTIFICATE-----  
... 証明書 ...  
-----END CERTIFICATE-----
```

SGD は、SSL 証明書のサブジェクト代替名 (subjectAltName) 拡張をサポートしています。SGD は、ドメイン名の最初の部分にワイルドカード * を使用することもサポートしています。たとえば、*.example.com のように指定できます。

SGD では、認証局 (Certificate Authority、CA) の数がサポートされています。/opt/tarantella/etc/data/cacerts.txt ファイルには、SGD でサポートされるすべての CA 証明書の X.500 識別名 (Distinguished Name、DN) および MD5 シグニチャーが含まれています。サポートされていない CA によって署名されている SSL 証明書をサポートするには、追加設定が必要です。中間 CA がサポートされていますが、チェーンの証明書のいずれかがサポートされていない CA によって署名されている場合は、追加設定が必要です。

SGD では、追加設定によって外部ハードウェア SSL アクセラレータの使用がサポートされています。

SGD では、次の暗号化方式群がサポートされています。

- RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA
- RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
- RSA_WITH_RC4_128_SHA
- RSA_WITH_RC4_128_MD5
- RSA_WITH_DES_CBC_SHA

印刷サポート

SGD では、PDF 印刷とプリンタ直接印刷という 2 種類の印刷がサポートされています。

PDF 印刷では、SGD は [Ghostscript](#) を使用して印刷ジョブを PDF (Portable Document Format) ファイルに変換します。Ghostscript version 6.52 以降を SGD ホストにインストールする必要があります。Ghostscript ディストリビューションに、ps2pdf プログラムが含まれている必要があります。最良の結果を得るためには、最新バージョンの Ghostscript をインストールします。

SGD では、ユーザーのクライアントデバイスに接続されている PostScript、PCL (Printer Command Language)、およびテキスト専用プリンタへのプリンタ直接印刷がサポートされています。SGD の `tta_print_converter` スクリプトは、クライアントプリンタに合わせて印刷ジョブを正しくフォーマットするために必要な変換をすべて実行します。`tta_print_converter` スクリプトは、Ghostscript を使って、PostScript 形式から PCL 形式に変換します。この変換をサポートするためには、Ghostscript を SGD サーバーにインストールする必要があります。最良の結果を得るために、追加フォントをダウンロードしてインストールしてください。

Ghostscript は、SGD ソフトウェアには含まれていません。

クライアントデバイスの要件とサポート

このセクションには、次のトピックが含まれます。

- [35 ページの「サポートされるクライアントプラットフォーム」](#)
- [37 ページの「サポートされているプロキシサーバー」](#)
- [38 ページの「PDF 印刷のサポート」](#)

サポートされるクライアントプラットフォーム

次の表に、SGD Client でサポートされるクライアントプラットフォームの一覧を示します。また、サポートされるブラウザ、および SGD Client が統合モードで動作しているときにサポートされるデスクトップメニューシステムも含まれています。

サポートされるクライアントプラットフォーム	サポートされるブラウザ	統合モードのサポート
Microsoft Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)	Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 3	Microsoft Windows の「スタート」メニュー
Microsoft Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)	Internet Explorer 7 Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 3	Microsoft Windows の「スタート」メニュー
Microsoft Windows XP Professional (32 ビット)	Internet Explorer 7 Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 3	Microsoft Windows の「スタート」メニュー
SPARC プラットフォーム上の Solaris OS Solaris 10 10/09 以降	Mozilla Firefox 3	Java Desktop System の「起動」メニュー
x86 プラットフォーム上の Solaris OS Solaris 10 10/09 以降	Mozilla Firefox 3	Java Desktop System の「起動」メニュー
SPARC プラットフォーム上の Solaris OS Trusted Extensions Solaris 10 10/09 以降	Mozilla Firefox 3	サポートされていません
x86 プラットフォーム上の Solaris OS Trusted Extensions Solaris 10 10/09 以降	Mozilla Firefox 3	サポートされていません
Mac OS X 10.6	Safari 5 Safari 4 Mozilla Firefox 3	サポートされていません
Red Hat Enterprise Linux 5.5 Desktop (32 ビットおよび 64 ビット)	Mozilla Firefox 3	GNOME または KDE の「スタート」メニュー
Ubuntu 10.04 (32 ビットおよび 64 ビット)	Mozilla Firefox 3	GNOME の「スタート」メニュー

Safari ブラウザでは SGD Administration Console はサポートされていません。

ベータ版やプレビュー版のブラウザはサポートされません。

ブラウザで JavaScript™ プログラミング言語が有効になっている必要があります。

次の機能をサポートするには、ブラウザで Java™ テクノロジを有効にする必要があります。

- **SGD Client** を自動的にダウンロードしてインストールする
- ユーザーのデフォルトブラウザからプロキシサーバーの設定を調べる

Java テクノロジを利用できない場合でも、**SGD Client** を手動でダウンロードしてインストールできます。Mac OS X を除く、サポートされているすべてのクライアントプラットフォームで、手動インストールが可能です。Microsoft Windows プラットフォームでは、**SGD Client** のインストールに管理者権限が必要です。

Java™ Plugin ツール version 1.6 は、Java テクノロジのプラグインとしてサポートされています。

ユーザーが同一のクライアントデバイスとブラウザを使って複数のユーザーセッションを起動した場合、新しいセッションが既存のセッションを終了させるのではなく、それらのユーザーセッションは結合されます。この方法でユーザーセッションを結合するには、永続的な **Cookie** を許可するようにブラウザが設定されている必要があります。永続的な **Cookie** が許可されていない場合、ユーザーセッションは常に終了し、アプリケーションウィンドウが閉じることもあります。

適切に表示するには、クライアントデバイスを少なくとも 256 色に設定する必要があります。

SGD Client および **Webtop** は、次のサポート対象言語で使用できます。

- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 韓国語
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語

仮想化のサポート

SGD でサポートされる **Client** プラットフォームは、**Type 1** (ベアメタル) ハイパーバイザまたは **Type 2** (ホスト) ハイパーバイザでサポートされます。たとえば、Oracle VM VirtualBox、VMWare、Oracle VM Server for SPARC (以前は Sun Logical Domains や LDOMs と呼ばれた) などです。

サポートされなくなった Client プラットフォーム

次の表に、サポートされなくなった SGD Client インストールプラットフォーム、ブラウザ、および Java Plugin ツールを示します。

SGD のバージョン	サポートされなくなったプラットフォーム
4.60	Mac OS X 10.5 OpenSolaris (全バージョン) Red Hat Enterprise Linux Desktop 5.0 ～ 5.4 Solaris 10 OS 以下 (5/09 を含む) Ubuntu 8 Firefox 2 Internet Explorer 6 Safari 2 Safari 3 Java Plugin ツール version 1.5
4.50	Fedora Linux 8 Mac OS X 10.4 Microsoft Windows 2000 Professional Solaris 8 OS Solaris 9 OS SUSE Linux Enterprise Desktop 10 Ubuntu 7.04
4.41	Fedora Linux 7 Red Hat Desktop version 4 Mozilla 1.5

サポートされているプロキシサーバー

プロキシサーバーを使用して SGD に接続するには、プロキシサーバーがトンネリングをサポートする必要があります。HTTP、Secure (SSL)、または SOCKS version 5 プロキシサーバーを使用できます。

SOCKS version 5 プロキシサーバーの場合、「基本」および「無認証要求」認証方式が SGD でサポートされます。サーバー側の設定は必要ありません。

PDF 印刷のサポート

PDF 印刷を使用するには、クライアントデバイスに PDF ビューアがインストールされている必要があります。SGD は、デフォルトでは次の PDF ビューアをサポートしています。

クライアントプラットフォーム	デフォルト PDF ビューア
Microsoft Windows プラットフォーム	Adobe Reader version 4.0 以降
SPARC プラットフォーム上の Solaris OS	Adobe Reader (acroread) GNOME PDF Viewer (gpdf)
x86 プラットフォーム上の Solaris OS	GNOME PDF Viewer (gpdf)
Linux	GNOME PDF Viewer (gpdf) Evince Document Viewer (evince) X PDF Reader (xpdf)
Mac OS X	Preview App (/Applications/Preview.app)

注 - Adobe Reader PDF ビューアが、`-openInNewWindow` コマンドオプションをサポートしている必要があります。Preview App PDF ビューアが、`open -a` コマンドオプションをサポートしている必要があります。

サポートされている PDF ビューアを使用するには、そのアプリケーションがユーザーの PATH 上に存在する必要があります。

代替 PDF ビューアのサポートは、ユーザーのクライアントプロファイルで設定できます。

サポートされるスマートカード

SGD は、Microsoft Remote Desktop サービスでの使用がサポートされているすべての PC/SC (Personal Computer/Smart Card) 準拠のスマートカードおよびリーダーとともに動作します。

SGD Gateway の要件とサポート

このセクションには、次のトピックが含まれます。

- 39 ページの「 SGD Gateway でサポートされるインストールプラットフォーム」
- 40 ページの「 SGD Gateway の SGD サーバー要件」
- 40 ページの「 Apache Web サーバー」
- 41 ページの「 SSL 接続でサポートされる暗号化方式群」

SGD Gateway でサポートされるインストールプラットフォーム

SGD Gateway ホストのインストールプラットフォームとしてサポートされているものを次の表に示します。

オペレーティングシステム	サポートされるバージョン
SPARC プラットフォーム上の Solaris OS	Solaris 10 10/09 以降
x86 プラットフォーム上の Solaris OS	Solaris 10 10/09 以降
Red Hat Enterprise Linux (32 ビットおよび 64 ビット)	5.5
Oracle Enterprise Linux (32 ビットおよび 64 ビット)	5.5

SGD Gateway では、デフォルトで、最大 100 の HTTP 同時接続と最大 512 の AIP (Adaptive Internet Protocol) 同時接続がサポートされています。JVM のメモリーサイズは、この接続数に対して最適化されます。『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド 』の付録 C に、予測ユーザー数に対して Gateway を調整する方法が記載されています。

仮想化のサポート

SGD Gateway でサポートされるインストールプラットフォームは、Type 1 (ベアメタル) ハイパーバイザまたは Type 2 (ホスト) ハイパーバイザでサポートされます。たとえば、Oracle VM VirtualBox、VMWare、Oracle VM Server for SPARC (以前は Sun Logical Domains や LDoms と呼ばれた) などです。

Solaris 10 OS では、ゾーンへのインストールはサポートされていません。

サポートされなくなった Gateway インストールプラットフォーム

次の表に、サポートされなくなった SGD Gateway インストールプラットフォームを示します。

SGD のバージョン	サポートされなくなったプラットフォーム
4.60	OpenSolaris (全バージョン) Red Hat Enterprise Linux 5.0 ～ 5.4 Solaris 10 OS 以下 (5/09 を含む) SUSE Linux Enterprise Server 10
4.50	使用不能
4.41	使用不能

SGD Gateway の SGD サーバー要件

SGD Gateway とともに使用される SGD サーバーには、次の要件が適用されます。

- **セキュアモード**。デフォルトでは、SGD Gateway では SGD サーバーへのセキュア接続が使用されます。SGD サーバーでセキュア接続を有効にする必要があります。ファイアウォールの転送が無効になっている必要があります。
- **統合モード**。SGD Client は、統合モードで SGD サーバーにアクセスするように設定してはいけません。
- **SGD のバージョン**。SGD サーバーでは SGD version 4.5 以降が実行されている必要があります。SGD version 4.6 で Gateway version 4.6 を使用することをお勧めします。
- **クロックの同期**。SGD サーバーと SGD Gateway のシステムクロックが同期していることが重要です。時間情報プロトコル (NTP) ソフトウェアまたは `rdate` コマンドを使用して、クロックが同期していることを確認してください。

Apache Web サーバー

SGD Gateway に付属の Apache Web サーバーは、Apache version 2.2.16 です。Apache Web サーバーには、逆プロキシと負荷分散のために標準の Apache モジュールが含まれています。モジュールは DSO (Dynamic Shared Object) モジュールとしてインストールされます。

SSL 接続でサポートされる暗号化方式群

SGD Gateway では、SSL 接続用に次の暗号化方式群がサポートされています。

- SSL_RSA_WITH_RC4_128_MD5
- SSL_RSA_WITH_RC4_128_SHA
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA
- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_DHE_DSS_WITH_AES_128_CBC_SHA
- TLS_DHE_DSS_WITH_AES_256_CBC_SHA
- SSL_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
- SSL_DHE_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
- SSL_DHE_DSS_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
- SSL_RSA_WITH_DES_CBC_SHA
- SSL_DHE_RSA_WITH_DES_CBC_SHA
- SSL_DHE_DSS_WITH_DES_CBC_SHA
- SSL_RSA_EXPORT_WITH_RC4_40_MD5
- SSL_RSA_EXPORT_WITH_DES40_CBC_SHA
- SSL_DHE_RSA_EXPORT_WITH_DES40_CBC_SHA
- SSL_DHE_DSS_EXPORT_WITH_DES40_CBC_SHA

アプリケーション要件とサポート

このセクションには、次のトピックが含まれます。

- [42 ページの「サポートされるアプリケーション」](#)
- [42 ページの「SGD 拡張モジュールでサポートされるインストールプラットフォーム」](#)
- [44 ページの「Microsoft Windows ターミナルサービス」](#)
- [46 ページの「X アプリケーションと文字型アプリケーション」](#)

サポートされるアプリケーション

SGD を使用して、次に示す種類のアプリケーションにアクセスできます。

- Microsoft Windows
- Solaris OS、Linux、HP-UX、および AIX アプリケーションサーバー上で実行されている X アプリケーション
- Solaris OS、Linux、HP-UX、および AIX アプリケーションサーバー上で実行されている文字型アプリケーション
- IBM メインフレームおよび AS/400 システム上で実行されているアプリケーション
- ハイパーテキストマークアップ言語 (HTML) と Java™

SGD では、次のプロトコルがサポートされます。

- Microsoft リモートデスクトッププロトコル (RDP) version 5.2 以降
- X11
- HTTP
- HTTPS
- SSH version 2 以降
- Telnet VT、American National Standards Institute (ANSI)
- TN3270E
- TN5250

SGD 拡張モジュールでサポートされるインストールプラットフォーム

SGD 拡張モジュールは、アプリケーションサーバーにインストールできるソフトウェアコンポーネントであり、SGD を介して表示されたアプリケーションを使用している場合は次の追加機能を提供します。

- 高度な負荷分散
- クライアントドライブマッピング (UNIX® または Linux プラットフォームのみ)
- シームレスウィンドウ (Windows プラットフォームのみ)
- オーディオ (UNIX または Linux プラットフォームのみ)

次の表に、SGD 拡張モジュールでサポートされるインストールプラットフォームを示します。

オペレーティングシステム	サポートされるバージョン
Microsoft Windows (64 ビット)	Windows Server 2008 R2
Microsoft Windows (32 ビットおよび 64 ビット)	Windows Server 2008 Windows Server 2003 R2 Windows Server 2003
SPARC プラットフォーム上の Solaris OS	8 、 9 、 10 、 10 Trusted Extensions
x86 プラットフォーム上の Solaris OS	10 、 10 Trusted Extensions
Red Hat Enterprise Linux (32 ビットおよび 64 ビット)	5
Oracle Enterprise Linux (32 ビットおよび 64 ビット)	5
SUSE Linux Enterprise Server (32 ビットおよび 64 ビット)	10, 11

Solaris 10 OS Trusted Extensions プラットフォームでは、高度な負荷分散のみがサポートされています。オーディオや CDM はサポートされていません。

アプリケーションサーバーが SGD 拡張モジュールでサポートされないプラットフォームの場合でも、SGD ではそれらを使用することができ、サポートされるプロトコルのいずれかを使用してサポートされるアプリケーションタイプにアクセスできます。

仮想化のサポート

SGD 拡張モジュールでサポートされるインストールプラットフォームは、Type 1 (ベアメタル) ハイパーバイザまたは Type 2 (ホスト) ハイパーバイザでサポートされます。たとえば、Oracle VM VirtualBox 、 VMWare 、 Oracle VM Server for SPARC (以前は Sun Logical Domains や LDom と呼ばれた) などです。

ゾーンへのインストールが Solaris 10 OS でサポートされます。SGD は大域ゾーンまたは 1 つ以上の非大域ゾーンにインストールできます。大域ゾーンと非大域ゾーンの両方へのインストールはサポートされていません。

Solaris 10 OS Trusted Extensions プラットフォームでは、SGD をラベル付きゾーンにインストールする必要があります。大域ゾーンには SGD をインストールしないでください。

SGD 拡張モジュールでサポートされなくなったインストールプラットフォーム

次の表に、SGD 拡張モジュールでサポートされなくなった インストールプラットフォームを示します。

SGD のバージョン	サポートされなくなったプラットフォーム
4.60	OpenSolaris (全バージョン) Windows Vista Business* Windows Vista Professional* Windows XP Professional*
4.50	Fedora Linux 8 Red Hat Enterprise Linux 4 SUSE Linux Enterprise Server 9 SUSE Linux Enterprise Server 10 Windows 2000 Server
4.41	Fedora Linux 7

* SGD 拡張モジュールで、このプラットフォームでサポートされなくなった機能が用意されなくなりました。
このプラットフォームは、アプリケーションプラットフォームとしてサポートされなくなりました。
『 44 ページの「 Microsoft Windows ターミナルサービス 」』を参照してください。

Microsoft Windows ターミナルサービス

SGD には、Microsoft Windows ターミナルサービスのライセンスは含まれていません。Microsoft オペレーティングシステム製品で提供されるターミナルサーバー機能にアクセスするには、該当する製品を使用するための追加ライセンスを購入する必要があります。使用している Microsoft オペレーティングシステム製品のライセンス契約書を参照して、入手する必要のあるライセンスを確認してください。

注 - Microsoft Windows Server 2008 R2 以降、Windows ターミナルサービスはリモートデスクトップサービスという名称に変更されます。

SGD では、次の Microsoft Windows のバージョンへの RDP 接続がサポートされています。

- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008
- Windows Server 2003 R2
- Windows Server 2003
- Windows 7 Ultimate

- Windows 7 Professional
- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Business
- Windows XP Professional

Windows 7、Windows Vista、および Windows XP プラットフォームでは、完全な Windows デスクトップセッションのみがサポートされています。個々のアプリケーションの実行はサポートされていません。シームレスウィンドウもサポートされません。

SGD では、次のターミナルサービス機能がサポートされています。

- オーディオのリダイレクト
- クリップボードのリダイレクト
- COM ポートマッピング
- ドライブのリダイレクト
- 暗号化レベル
- セッション ディレクトリ
- スマートカードデバイスのリダイレクト
- タイムゾーンのリダイレクト
- Windows プリンタ マッピング

オーディオの音質

Windows Server 2008 R2 および Windows 7 では、最大 44.1 kHz のオーディオビットレートがサポートされています。SGD では、デフォルトで最大 22.05 kHz のビットレートがサポートされています。Administration Console で最大 44.1 kHz のビットレートをサポートするには、「Global Settings」→「Client Device」タブに移動し、「Windows Audio: High Quality」オプションを選択します。

発色数

SGD は、Windows ターミナルサーバーのセッションで 16-ビット、24-ビット、および 32-ビットの発色数をサポートします。

32-ビットは Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2008R2、および Windows 7 プラットフォームで使用可能です。32-ビットの色を表示するには、クライアントデバイスは 32-ビットの色を表示する必要があります。

15-ビットの発色数はサポートされていません。この発色数がターミナルサーバーで指定されている場合、SGD は自動的に発色数を 8-ビットに調整します。

暗号化レベル

SGD では、低、クライアント互換、または高の暗号化レベルのみを使用できます。SGD は、Federal Information Processing Standards (FIPS) 暗号化レベルをサポートしていません。

トランスポート層セキュリティ

Microsoft Windows Server 2003 以降、サーバーの認証およびターミナル サーバーの通信の暗号化にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使用できます。SGD は TLS の使用をサポートしていません。

X アプリケーションと文字型アプリケーション

X アプリケーションと文字型アプリケーションを実行するには、そのアプリケーションをホストしているアプリケーションサーバーに SGD から接続する必要があります。SGD では、SSH、Telnet、および rexec が接続方法としてサポートされています。セキュリティ保護のためには SSH が最適です。

SGD では、SSH version 2 以降の SSH を使用できます。SSH にはバージョン間の互換性の問題があるので、すべての SGD ホストとアプリケーションサーバーで、メジャーバージョンが同じ SSH (version 2 か version 3) を使用してください。

X アプリケーションへの接続に SSH を使用する場合は、X11 転送を有効にする必要があります。これには、SSH の設定を使用するか、SGD でアプリケーションを設定します。SGD で SSH を使用方法の詳細は、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』を参照してください。

SGD は X セキュリティー拡張機能をサポートします。X セキュリティー拡張機能は、-Y オプションをサポートする SSH のバージョンでのみ動作します。OpenSSH の場合、これは 3.8 以降のバージョンです。

サポートされている X の拡張機能

SGD には、X11R6.8.2 を基盤とする X サーバーが含まれています。

SGD は、X アプリケーションに対する次の X の拡張機能をサポートしています。

- BIG-REQUESTS
- BLINK
- DAMAGE
- DEC-XTRAP

- DOUBLE-BUFFER
- Extended-Visual-Information
- GLX
- MIT-SCREEN-SAVER
- MIT-SHM
- MIT-SUNDRY-NONSTANDARD
- NATIVE-WND
- RDP
- RECORD
- RENDER
- SCO-MISC
- SECURITY
- SGI-GLX
- SHAPE
- SYNC
- TOG-CUP
- X-Resource
- XC-APPGROUP
- XC-MISC
- XFIXES
- XFree86-Bigfont
- XTEST
- XTTDEV

サポートしていない X の拡張機能は次のとおりです。

- KEYBOARD
- RANDR
- XINERAMA
- XVIDEO

文字型アプリケーション

SGD は、VT420、Wyse 60、または SCO コンソールの文字型アプリケーションをサポートしています。

サポートおよびサポート終了のお知らせ

このリリース、Oracle Secure Global Desktop 4.6 は、Oracle 製品としてリリースされる SGD の最初のバージョンです。

Oracle Secure Global Desktop 4.6 の Premier Support は、このあとの Oracle Secure Global Desktop 4 リリースに代替されないかぎり、2015 年 9 月まで提供されます。Premier Support は、一般提供 (General Availability、GA) から 5 年間提供されます。Oracle Premier Support の詳細は、<http://www.oracle.com/us/support/library/oracle-premier-support-brochure-069189.pdf> を参照してください。

Premier Support の終了後は、Oracle Sustaining Support が提供されます。定義の要約については、<http://www.oracle.com/us/support/lifetime-support-068561.html> を参照してください。

SGD では、Extended Support は提供されません。

次の表に、Oracle SGD 製品のサポート終了日付を示します。

ソフトウェアとバージョン	GA 日付	Premier Support 終了	Sustaining Support 終了
Oracle Secure Global Desktop 4	2010 年 9 月	2015 年 9 月	無期限

次の表に、Sun Microsystems によってリリースされた SGD 製品のサポート終了日付を示します。

ソフトウェアとバージョン	GA 日付	Premier Support 終了	Sustaining Support 終了
Sun Secure Global Desktop 4.50	2009 年 5 月	2011 年 12 月	2015 年 12 月
Sun Secure Global Desktop 4.41	2008 年 8 月	2010 年 11 月	2014 年 11 月
Sun Secure Global Desktop 4.40	2007 年 11 月	使用不能	2014 年 2 月
Sun Secure Global Desktop 4.31	2007 年 5 月	使用不能	2013 年 5 月
Sun Secure Global Desktop 4.30	2006 年 12 月	使用不能	2013 年 4 月
Sun Secure Global Desktop 4.2	2005 年 9 月	使用不能	2012 年 11 月

有効なサポート契約をお持ちのお客様は、最新バージョンの SGD に無料でアップグレードできます。

非推奨機能

SGD version 4.60 では、Citrix ICA (Independent Computing Architecture) プロトコルを Windows アプリケーションサーバーに接続するためのプロトコルとして使用できなくなりました。代わりに、Citrix ICA クライアントを X アプリケーションオブジェクトとして設定できます。

次の SGD 機能は、次のリリースの SGD では使用できない可能性があります。

- SGD 負荷分散 JSP (`swcd.jsp`)。SGD Gateway には、負荷分散された配備のためのより良いソリューションが用意されています。
- Windows ドメイン認証。代わりに Active Directory 認証を使用してください。
- SecurID 認証。代わりに、第三者の認証による RSA Authentication Agent を使用してください。
- SGD Client の統合モジュール。
- ローカルの Windows クライアントデバイス上でのアプリケーションの実行 (ローカル起動と呼ばれる)。
- `tarantella cache` コマンド。

第3章

既知の問題、バグ修正、およびドキュメントの問題

この章では、Oracle Secure Global Desktop (SGD) の既知の問題、バグ修正、およびドキュメントの問題について説明します。

この章の内容は次のとおりです。

- [51 ページの「既知のバグと問題」](#)
- [61 ページの「version 4.60 で修正されたバグ」](#)
- [70 ページの「version 4.50 で修正されたバグ」](#)
- [77 ページの「version 4.41 で修正されたバグ」](#)
- [82 ページの「version 4.60 でのドキュメントの問題」](#)

既知のバグと問題

ここでは、SGD version 4.60 に関する既知のバグと問題の一覧を示します。

6456278 - root ユーザーで統合モードが動作しない

問題: Solaris 10 OS x86 プラットフォームでは、root ユーザーでのログイン時に統合モードを有効にすると、アプリケーションが Solaris 10 の「起動」メニューに表示されません。次の警告が表示されることがあります。

```
gnome-vfs-modules-WARNING **: Error writing vfolder configuration file "//  
.gnome2/vfolders/applications.vfolder-info": File not found.
```

原因: GNOME Virtual File System (VFS) の既知の問題です。

解決策: 現在のところ、解決策はありません。

6482912 - SGD Client が自動的にインストールされない

問題: Microsoft Windows Vista プラットフォームで Internet Explorer 7 を使用している場合、SGD Client のダウンロードおよびインストールが自動的に実行されません。手動で SGD Client をインストールできます。また、Firefox などの別のブラウザを使用すれば、自動的にインストールできます。

原因: Internet Explorer にはプロテクトモードがあり、このモードのために SGD Client の自動ダウンロードおよびインストールが妨げられます。

解決策: Internet Explorer の「セキュリティ設定」の「信頼済みサイト」リストに SGD サーバーを追加します。

6555834 – Java™ テクノロジーがブラウザでは有効になっているが、クライアントデバイスにインストールされていない

問題: Java テクノロジーがブラウザの設定で有効になっていても、Java Plugin ツールがクライアントデバイスにインストールされていない場合、SGD Webtop は表示されません。ログインプロセスはスプラッシュ画面で停止します。

原因: SGD は、ブラウザの設定を使って、Java テクノロジーを使用するかどうかを決定します。

解決策: Java Plugin ツールをインストールし、ブラウザのプラグインディレクトリから Java™ 仮想マシン (JVM™) ソフトウェアの格納場所へのシンボリックリンクを作成します。詳細については、ブラウザのマニュアルを参照してください。

6598048 – Windows アプリケーションでカナダ系フランス語用キーボードが正しくマッピングされない

問題: カナダ系フランス語 (旧バージョン) のキー配列を Windows アプリケーションで使用する場合に、一部のフランス語文字が正しく印刷されません。

原因: カナダ系フランス語 (旧バージョン) のキー配列に関する既知の問題です。

解決策: 既知の解決策はありません。現在のところ、互換性のあるキーマップファイルは SGD で提供されていません。

6665330 – MyDesktop を使って表示された Java Desktop System セッションから VirtualBox™ ソフトウェアを起動すると、フォントエラーが発生する

問題: Solaris 10 OS 上で、MyDesktop を使って表示された Java Desktop System デスクトップセッションから VirtualBox ソフトウェアを起動すると、フォントエラーが報告され、表示の問題が発生します。この問題は、`xsession.jds` を MyDesktop アプリケーションオブジェクトのアプリケーションコマンドとして使用する場合に発生します。

原因: SGD X サーバー上で使用不可能なフォント。

解決策: Java Desktop System デスクトップセッションから VirtualBox ソフトウェアを起動する際に、`-fn` オプションを使って有効なフォントを指定します。あるいは、不足しているフォントを SGD サーバーにインストールします。SGD でのフォントの使用に関する詳細については、『*Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド*』を参照してください。

6801579 – Microsoft Windows クライアントデバイス上の Solaris OS アプリケーションでかなモードが使用できない

問題: 日本語ロケールの Microsoft Windows クライアントデバイス上の Solaris OS アプリケーションで、かなモードが使用できません。

原因: Microsoft Windows クライアントデバイス上の SGD Client では、かなモードに ASCII が使用されます。Solaris OS アプリケーションでは、かなモードに Unicode が使用されます。

解決策: Microsoft Windows クライアントデバイス上で、新しいシステム変数 `TARANTELLA_KEYBOARD_KANA_SOLARIS` を追加します。このシステム変数の値を 1 に設定します。

6809365 – アプリケーションの起動エラーとユーザーの DN 内の引用符

問題: LDAP を使用してユーザーを認証するときに、ユーザーの識別名 (Distinguished Name、DN) に複数の一重引用符 (') が含まれていると、Windows アプリケーションが起動に失敗する場合があります。

原因: 既知の問題点です。

解決策: この問題を回避するには、wcpwts.exp ログインスクリプトを編集します。このスクリプトは、SGD サーバーの /opt/tarantella/var/serverresources/expect ディレクトリにあります。

wcpwts.exp スクリプトで次のエントリを見つけます。

```
regsub {'} $value {'"' value
```

このエントリを次のように編集します。

```
regsub -all {'} $value {'"' value
```

6831480 – バックアッププライマリリストコマンドがエラーを返す

問題: 停止後にアレイから切り離された SGD サーバー上で tarantella array list_backup primaries コマンドを使用すると、「Failed to connect」エラーが返されます。

原因: 既知の問題点です。

解決策: tarantella array list_backup primaries コマンドを使用する前に、切り離された SGD サーバーを再起動します。

6863153 – 再配置された Windows デスクトップセッションで HyperTerminal アプリケーションがハングする

問題: Windows デスクトップセッションで HyperTerminal アプリケーションを実行すると、別のクライアントデバイスからデスクトップセッションを再開しようとしたときに問題が発生します。HyperTerminal アプリケーションは応答せず、終了できません。

原因: 別のクライアントデバイスから Windows デスクトップセッションを再開したときの、HyperTerminal の既知の問題です(「セッショングラフ」とも呼ばれます)。

解決策: 別のクライアントデバイスから Windows デスクトップセッションを再開する前に、HyperTerminal アプリケーションを終了します。

6921995 – Java テクノロジが使用できないときに 負荷分散 JSP が動作しない

問題: ユーザーセッションの負荷分散のために SGD によって使用される負荷分散 JavaServer Page (JSP) が動作しません。Java の警告メッセージが表示されることもあります。

原因: 負荷分散 JSP を使用するには、クライアントデバイスで Java テクノロジが有効になっている必要があります。

解決策: 次のいずれかを実行します。

- クライアントデバイスでブラウザの Java テクノロジを有効にします。
- ユーザーセッションの負荷分散を行うために SGD Gateway を使用します。負荷分散 JSP は今後使用できなくなる可能性があるため、これが推奨される解決策です。SGD Gateway のインストールおよび設定方法については、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド』を参照してください。

6937146 – 64 ビット Linux アプリケーションサー バーでホストされる X アプリケーションでオーデ ィオが使用できない

問題: 64 ビット Linux アプリケーションサーバーでホストされる X アプリケーションで、オーディオが再生されない場合があります。この問題は /dev/dsp または /dev/audio デバイスを使用するハードコードされた X アプリケーションで発生し、「Audio Redirection Library」(--unixaudiopreload) 属性が有効になっています。

原因: 既知の問題点です。64 ビットの SGD Audio Redirection Library は、SGD 拡張モジュールに含まれていません。

解決策: 現在のところ、既知の解決策はありません。

6942981 – Solaris 10 OS Trusted Extensions でアプリケーションの起動に時間がかかる

問題: Solaris 10 OS Trusted Extensions プラットフォームで、Windows アプリケーションおよび X アプリケーションの起動に予想以上に時間がかかる場合があります。

原因: デフォルトでは、X プロトコルエンジンが X ディスプレイポート 10 に接続しようとします。このポートは、Solaris 10 OS Trusted Extensions の使用時には使用できません。しばらくすると、X プロトコルエンジンが別の X ディスプレイポートに接続し、アプリケーションは正常に起動します。

解決策: 次のいずれかを実行します。

- SGD サーバーによって使用されるデフォルトの最小ディスプレイポートを変更します。

SGD サーバーの `/opt/tarantella/var/serverconfig/local` ディレクトリにある `xpe.properties` ファイルで次の設定を行います。

```
tarantella.config.xpeconfig.defaultmindisplay=11
```

変更後、SGD サーバーを再起動します。

- 使用できないポートを X プロトコルエンジンで使用されないように除外します。

Administration Console で、アレイ内の各 SGD サーバーの「プロトコルエンジン」→「X」タブに移動し、「コマンド行引数」フィールドに `-xport portnum` と入力します。ここで、`portnum` は、除外する TCP ポートの番号です。

または、次のコマンドを実行します。

```
$ tarantella config edit --xpe-args "-xport portnum"
```

たとえば、X ディスプレイポート 10 を X プロトコルエンジンで使用されないように除外するには、次のように指定します。

```
$ tarantella config edit --xpe-args "-xport 6010"
```

行なった変更は、新しい X プロトコルエンジンでのみ有効になります。既存の X プロトコルエンジンに影響はありません。

6957820 – Windows アプリケーションでスマートカード 認証を使用すると、SGD Client がハングする

問題: Ubuntu 10.04 Linux クライアントデバイスから Windows アプリケーションセッションにログインするためにスマートカードを使用すると、ユーザーが認証されたアプリケーションセッションを終了したあと、SGD Client がハングします。ユーザーは、さらにアプリケーションを起動したり SGD からログアウトしたりすることができなくなる場合があります。

原因: Ubuntu クライアントプラットフォーム上の PCSC-Lite version 1.5.3 の既知の問題です。

解決策: クライアントデバイス上の PCSC-Lite を最新バージョンに更新します。

6961236 – Tomcat のログでのエラーメッセージ

問題: ThradLocal メモリーリークに関するエラーメッセージが /opt/tarantella/webserver/tomcat/tomcat-version/logs/catalina.out の Tomcat JSP コンテナログファイルに書き込まれます。SGD の処理は影響を受けません。

原因: Tomcat のメモリーリーク検出機能の既知の問題です。

解決策: 既知の解決策はありません。この問題は Tomcat の今後のリリースで修正される予定です。

6962970 – Windows クライアントデバイスで複数の CAL が使用される

問題: Windows クライアントデバイスは、複数のクライアントアクセスライセンス (Client Access Licence、CAL) に割り当てられます。Windows アプリケーションが起動するたびに、CAL が誤って割り当てられます。

原因: HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\MSLicensing キー、またはそのサブキーのいずれかが、クライアントデバイス上の Windows レジストリで見つからない場合の既知の問題です。この問題は、Microsoft Windows Vista および Microsoft Windows 7 プラットフォームに影響を与えます。

解決策: 管理者権限でリモートデスクトップ接続を開始して、見つからないキーを再作成します。詳細については、Microsoft サポート技術情報の記事 187614 を参照してください。

6963320 – SGD Gateway version 4.5 またはアップグレードされた SGD Gateway version 4.6 を使用して SGD に接続できない

問題: 90 日後、ユーザーが Gateway version 4.5 を使用して SGD に接続できなくなります。Gateway を version 4.6 にアップグレードしたあと、ユーザーが SGD に接続できなくなります。

原因: SGD Gateway version 4.5 では、90 日間だけ有効な自己署名付き証明書が使用されます。これは、Gateway へのクライアント接続で使用される自己署名付き証明書のほか、Gateway 証明書やリフレクションサービスで使用される証明書に影響します。

Gateway を version 4.6 にアップグレードしたあと、自己署名付き Gateway 証明書が置き換えられるため、ユーザーは SGD に接続できなくなります。

解決策: Gateway version 4.5 を使用している場合は、version 4.6 にアップグレードします。

Gateway を version 4.6 にアップグレードした場合は、『Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド』の 16 ページの「How to Install SGD Gateway Certificates on the SGD Array」で説明されているように、SGD に対して Gateway を認証するための標準の設定手順を実行する必要があります。

version 4.6 では、Gateway 証明書とリフレクションサービスの証明書は、3600 日間有効です。Gateway へのクライアント接続で使用されるデフォルトの自己署名付き SSL 証明書は、365 日間有効です。クライアント SSL 接続用に独自の SSL 証明書をインストールしている場合、この証明書はアップグレードしても保持されます。

6969404 – Solaris 10 OS プラットフォームでの PDF 印刷の問題

問題: Solaris 10 10/09 プラットフォームで PDF (Portable Document Format) 印刷ができない場合があります。PDF ファイルには PostScript™ エラーメッセージが表示されます。

原因: 一部のバージョンの Ghostscript に関する既知の問題です。SGD では、Ghostscript を使用して印刷ジョブが PDF ファイルに変換されます。

解決策: Ghostscript の最新バージョンを SGD にインストールします。シンボリックリンク /opt/tarantella/var/info/gsbindir が新しい Ghostscript バイナリがインストールされているディレクトリを参照していることを確認します。

この修正は、Ghostscript version 8.71 を使用して確認されています。

6970615 – X アプリケーションで SecurID 認証が失敗する

問題: RSA Authentication Agent for PAM の使用時に X アプリケーションの SecurID 認証が失敗します。この問題は、接続方法に Telnet を使用するように設定されている X アプリケーションで発生します。

原因: RSA Authentication Agent for PAM の使用時の既知の問題です。

解決策: 接続方法に SSH を使用するように、X アプリケーションオブジェクトを設定します。

6974464 – Ubuntu クライアントでのキオスクモードの表示の問題

問題: Ubuntu クライアントプラットフォームで、キオスクモードで表示されるアプリケーションが Ubuntu デスクトップのツールバーで隠れてしまいます。この問題は、Compiz ウィンドウマネージャーが使用され、Ubuntu デスクトップで視覚効果が有効になっているときに発生します。

原因: Compiz ウィンドウマネージャーでは、デフォルトでは従来の全画面表示はサポートされません。

解決策: 次のいずれかを実行します。

- Ubuntu デスクトップの視覚効果を無効にします。
- Compiz Config Settings Manager をインストールし、Workarounds プラグインで「Legacy Fullscreen Support」オプションを有効にします。

行なった変更は、新しいアプリケーションセッションでのみ有効になります。

6979110 – ローカライズされたドキュメントが表示されない

問題: ローカライズされた HTML ドキュメントが表示されません。代わりに英語版ドキュメントが表示されます。

原因: 既知の問題点です。

解決策: ローカライズされたドキュメントの PDF 版を SGD Web サーバーの開始画面から表示できます。

Sun Type 7 日本語キーボードの問題

問題: Sun Type 7 日本語キーボードのユーザーが SGD で文字を正しく入力できません。

原因: クライアントデバイス上に Solaris OS キーテーブルがありません。

解決策: 適切なパッチをインストールして、クライアントデバイスにキーテーブルをインストールします。

プラットフォーム	パッチ
SPARC プラットフォーム上の Solaris 10 OS	121868
x86 プラットフォーム上の Solaris 10 OS	121869

「スタート」メニューの項目がアルファベット順に表示されない

問題: Microsoft Windows クライアントデバイス上で統合モードの SGD Client を使用中に、「スタート」メニューのエントリがアルファベット順に表示されません。

原因: Windows の機能では、新しい項目はメニューの末尾に追加され、アルファベット順に並び替えられないため、このようになります。

解決策: 詳細については、Microsoft サポート技術情報の記事 177482 を参照してください。

画面解像度が高い場合に Microsoft Windows Server 2003 アプリケーションのカラー発色数が 8 ビットに制限される

問題: Microsoft Windows Server 2003 アプリケーションで画面解像度が高い場合に、クライアントデバイス上での表示カラー発色数が 8 ビットに制限されます。この問題は、画面解像度が 1600 x 1200 ピクセルよりも高い場合に発生します。

原因: Windows Server 2003 ターミナルサービスセッションに関する既知の問題です。

解決策: 発色数を 16 ビットに増やす方法の詳細については、Microsoft ホットフィックス 942610 を参照してください。

version 4.60 で修正されたバグ

次の表に、4.60 リリースで修正された重要なバグの一覧を示します。

参照	説明
6499708	Active Directory user names that contain accented characters cannot login.
6548584	Input method status windows are empty and break CWM applications.
6557852	SGD should detect time drift amongst array members and notify.
6577023	Unavailable KDCs cause repeated time delays for Active Directory logins.
6606611	Attempting to detach itself (secondary) from an array fails.
6611453	<code>tcc.exe</code> needs to detect non-supported options and display usage message.
6612885	German Excel shortcut (CTRL + +) does not work.
6618608	Webtop generation using LDAP groups can cause delays on login.
6620281	Errors launching and printing when using third-party profile in an array.
6634243	Vista desktop sessions limited to 16-bit, RDC 6 client supports 32-bit.
6650334	Difficulties in mirroring LDAP in local repository, based on groups, with LDAP profiles on OU.
6654307	Make Active Directory authentication site aware.
6657964	Request that directory indices be disabled in default Apache and Tomcat configuration, if unnecessary.
6679914	Java technology application displays scroll bars on dialog and panels when run in CWM mode.
6690758	Ctrl-Alt-End (Del) does not work for Mac users running Terminal services session on VirtualBox or VMware using SGD.
6693475	IME window left behind when moving X-applications.
6704363	Next button not visible by default in Internet Explorer browsers on "Change SGD Authentication Pop-up Window".
6706042	Wrong default keymap setting for user profiles and login profiles.
6710090	Solaris OS keyboards and applications, not all compose key combinations work and depend on the locale.
6712822	Edit icon page, click on OK button does not close the window.
6713910	<code>aacute</code> , <code>oacute</code> characters missing from <code>xfrenchcanadian.txt</code> .
6715970	Surname field for user objects should have star mark indicating it as mandatory field.

参照	説明
6716041	Object could not be created error, when creating object after a make primary operation.
6720214	Number sign key is not generated in Russian keyboard layout.
6721595	Unable to edit files using gedit or kedit using Linux client in certain scenarios.
6722394	Input locale sh, which I think stands for Serbo-Croat, should map to xcroatian.txt.
6722403	Uring only works for X applications (Croatia).
6722430	Å produces Ån with ttatsc and xswedish.txt.
6723927	Tabbing does not work properly in UNIX SGD Client spoof dialog.
6723997	LDAP connection error message needs cleaning up.
6724408	Some strings truncated in non-English TCC dialogs.
6724412	Untranslated “Session Transferred” page title.
6726411	ttaxpe should ignore xmodmap pointer device mappings.
6731581	Need to distinguish between Return and Keypad Enter.
6732667	Pasting data into CDE applications does not work.
6734004	Users with Portuguese characters in Active Directory common name (CN) lose sessions periodically 4.40.917.
6755548	Add option to resume printer state in MyDesktop.
6763595	Windows applications do not launch after changing global printer settings.
6765576	Do not need to secure soap for standard server-side listener events.
6794245	MouseMove event does not work after upgrading from 4.2 to 4.4.
6794389	Validation error message pops up when disabling the application’s copy and paste security level.
6796420	Session ID cookies not marked as secure.
6796460	Disable autocomplete on login page to prevent browser caching user name and password.
6797395	prtinstall.en.us failed to detect SGD installation.
6798637	ttatsc on UNIX client fails to get a licence from 2008 servers, but still connects.
6801579	SGD 4.5 Windows Client cannot enable Kana mode for Solaris OS applications.
6802223	Message box for the SGD Client Helper does not have Sun branding or l10n.
6802825	tarantella uninstall should try to handle array clean up.
6805104	UNIX application audio is not routed to Vista client properly across subnets.

参照	説明
6805302	Unable to display all area when CWM session transferred to large resolution window.
6807223	SHIFT + DEL does not work in Terminal Services session in SGD 4.41.907.
6807557	Add support for Latin Extended Additional (UK and Ireland) 0x1E00 to 0x1EFF.
6808012	Support for support serial pass-through for UNIX application servers.
6810687	LDAP Users with long paths cannot save passwords in the password cache.
6811718	NumLock needs disabling before CTRL+F keys work.
6814983	CAPS LOCK is not working with xgreek keymap.
6817237	Kiosk mode only displays on one screen when used with Xinerama.
6818244	InterruptedNamingException reported by tarantella config edit command on secondary when the primary server is unavailable.
6822670	tarantella start startedcdm not working on SuSE 11 (32-bit).
6822705	Printer install script fails to create tta_printer on SuSE 11.
6825514	localarraydata file not created on primary if tarantella array join command is run on the secondary.
6829009	Secondary windows of seamless application are drawn in background, but work fine in independent window mode.
6831498	Application settings for printing settings are not absolute.
6832477	tarantella start/stop --array has not been fully removed.
6834433	Input filter missing from Tomcat configuration.
6836060	Printing fails on Red Hat 5.2 if SELinux is set to enforcing.
6837245	New application sessions for all users on all array members fail to start. Existing sessions work.
6838741	Copy and paste restrictions can be circumvented by cutting content rather than copying.
6839019	Hierarchical webtop is broken.
6839805	Request log messages can be prepended with host name and SSGD string.
6840581	Shortcut key combinations do not work in Emacs.
6842311	Applications run on SGD host leave temporary files.
6842532	Mac OS X 10.5.7 update prevents full screen display in Kiosk mode.
6846001	Need a way to pass an environment variable of our choosing from Sun Ray DTU to Terminal Services session through SGD.
6846596	Pasting into OpenWindows Solaris 8 OS applications does not work.
6846808	krb5.conf file is not preserved on upgrade.

参照	説明
6847515	SGD Client spins if it receives an invalid audio or serial I/O packet.
6848440	Default “My Desktop” application no longer exits when you log out.
6849891	After upgrade from 4.40.917 to 4.50.907 tarantella start fails.
6852198	Performance issue with CAD application.
6852617	Unable to use the Gateway with an upgraded SGD installation.
6856527	Use XFIXES to obtain clipboard changes.
6856981	Intermittently a wrong default printer is selected on Terminal Services sessions.
6861095	After webtop logout, the login button on the “Logged Out” page is not always a clickable link.
6861419	SGD installs startup scripts in both rc2.d and rc3.d on Solaris OS.
6862242	Alt + ‘ does not toggle the IME when used in SGD.
6862717	Caps Lock state appears to stick on Windows client (repeat key problem).
6863152	Windows session crashes when the HyperTerminal application is started after a session grab.
6867328	Connection error message shown in “Detailed Diagnostics” under “Info” link of webtop.
6867790	UK keyboard map has incorrect definition for “3” key, cannot be typed within VirtualBox or VMWare console.
6869188	When only third-party authentication is enabled, you cannot enter LDAP searches for webtop generation.
6870510	SGD Administration Console’s search function does not find empty LDAP groups.
6870877	Refresh of browser at the “OK to close this window” crashes MyDesktop.
6871452	Setting server.bindaddresses.external needs * and does not appear to work with !127.0.01.
6872934	Provide support for clients that do not have Java technology.
6873367	“Object could not be created” error was seen while creating a new object in search option window.
6874184	Active Directory authentication with user name that contains umlauts fails.
6874822	Application launches fail with “Maximum number of sessions has been reached”.
6875850	“Passwords do not match” error message is corrupted in Japanese locale in change password form.
6885772	Start script should detect if SGD is already running.

参照	説明
6886487	Option to prompt user to allow downgraded connection when SSH forwarding is not configured.
6888273	After a crash, replacement SGD Client is unable to print.
6889378	RDP session does not terminate with Enhancement Module and AFS/Kerberos software both installed.
6890490	Seamless windows applications fail when running with KDE on the client.
6893011	Request SGD web server is upgraded past Apache 2.2.14 to resolve SV CVE-2009-2699.
6893767	Leave sound at the remote host.
6893822	UNIX audio is broken.
6894284	Unable to type capital umlauts with Swiss keyboard. Key combination displays wrong character.
6896383	Caps Lock on French keyboard gives capitalized accented characters when numbers are expected.
6896391	Organizational Unit is not overriding the serial port settings of Global Settings.
6898039	Audio fails on SunRay when logged into webtop on Solaris Trusted Extensions.
6898102	Password cache issue seen with JDK 6 update 16.
6900586	Webtop takes a long time to display (up to 20 minutes) ,lots of errors in web server.
6902507	Need to ensure only one PID is tracked in various SGD PID files.
6902534	Update upgrade installation to handle changes to attributes.
6903480	Overhaul German keymap file.
6903481	Overhaul Czech AZERTY keymap file.
6903482	Overhaul Belgian keymap files.
6905248	/opt/tarantella/bin/lp command fails if the file name has spaces in it.
6905397	Some password related messages are not localized in Japanese locale.
6907461	Old settings are not preserved during Enhancement Module upgrade.
6908714	Get Service Tag identifier for SGD.
6909715	Clipboard security level cannot be saved by pressing bottom "Save" button (top one works).
6910136	PDF Printing does not work from Windows 7 application.
6912997	The Backspace/Delete key appears to behave like the End key on the Apple Mac in SGD 4.50.933.
6913651	Leaving residual image while resizing drawing using Autocad on Windows Server.

参照	説明
6914169	Upgrade does not recognize "lib" as one of the expected contents of /opt/tarantella.
6914391	Two or more apostrophes in a user's distinguished name (DN) causes an application launch failure.
6914465	Upgrades fail if httpd.conf contains "Listen 127.0.0.1:80".
6914478	If a security enabled server is upgraded, HTTP to HTTPS forwarding no longer takes place.
6916164	NullPointerException when creating an object when the main window is on another page.
6916329	Installation and arrays need to work better with DHCP.
6917315	Attempting to View Details on a non-existent session exits Administration Console.
6917355	Intra-array security setting should be visible with tarantella config list.
6917710	tarantella security disable may fail if a server has been upgraded since tarantella security enable was run.
6919207	Failed to launch a session with SGD if the password contains the Backslash character at the beginning.
6919683	Update Expect scripts following removal of Citrix support.
6920543	X Protocol Engine crashes on exit.
6921236	Input methods are being deliberately disabled from the expect scripts for no good reason.
6924262	X launches fail with ttatdmcl error if X11 forwarding is not enabled. A better error would help.
6924650	SGD Client on 64-bit Windows stores client license separately from MSTSC license.
6925036	When switching between non-seamless and seamless window you cannot enter keyboard input.
6925509	Applications created from the command line cannot be added to a group.
6925914	Disable SIGUSR2 handling.
6927936	Shift + F11 and Shift + F12 on a Sun keyboard cannot be mapped in SGD.
6927946	SGD Client reports incorrect launch error.
6929786	tarantella array list_backup primaries is not displaying all the secondary servers from the list.
6929850	A comma in the common name causes an exception when loading LDAP assignments.
6935362	Installation fails if ttasys and ttaserv users do not have a bash or sh shell.

参照	説明
6935579	Backup primaries list is not updated when using the Administration Console.
6937164	Support for SGD Enhancement Module on 64-bit RedHat Linux.
6938967	ttakpasswd tries to make its stack executable.
6942312	Audio fails with Windows Server 2008R2 as application server and SGD 4.50.907.
6942473	Password update error messages are not consistently reported to the user.
6944181	Upgrading from 4.40.917 to 4.50.933 fails if the server has been used with firewall traversal.
6944912	Smart card connections to Windows XP or 2003 fail with "smart card service is down".
6948342	Secure Global Desktop Servers tab, typographical error in help text.
6950215	Need to type two backquote characters to get one.
6952467	Administration Console fails to list user and application sessions if internal and external DNS names differ.
6952950	"makenumeric command not found" seen during installation.
6953935	Copy and paste from client to server fails resulting in a freeze of the application window.
6954181	Server.no license expired when using Active Directory.
6955041	Non-politically correct error message.
6955431	tarantella status command returns with no output if the array secondary is offline.
6955928	CDM still works even though it is disabled in SGD Client profile.xml.
6955975	Expired passwords not handled correctly.
6956026	Failover logging produces output even when failover is not active.
6956253	Session grab makes the first client's browser crash.
6956288	The "server restarted" web page is broken.
6956839	SGD session ends when passed to server if Windows session is disconnected (Session Directory).
6957667	Copy and paste does not work from remote to local X applications.
6957720	Problems editing the password cache with --ldap.
6957736	Setting _dns for a password cache entry still causes the application authentication dialog to display.
6958248	Proper error is not displayed when application server is filtered in Administration Console.
6958297	Support for Arabic keyboard and keymap.

参照	説明
6958522	Problems restarting SGD web server with <code>--servlet</code> option.
6958567	User-generated SecurID PINs are not accepted using Authentication Manager 7.1.
6958992	Webtop does not stay open while copying file to the client when session idle timeout is set.
6959071	Sort out switching to Swiss German locale from Ubuntu client.
6961027	Billing query fails.
6961272	<code>tarantella array join</code> fails on Solaris OS.
6961632	Application links on the Webtop are not highlighted properly in Internet Explorer 7.
6961720	Default Gnome terminal has wrong setting.
6961969	Application server password seen in plaintext in the "Connection Progress" dialog.
6962405	My cursor is yellow and it should not be.
6962712	<code>/tmp/SGDWebServiceCalls.log</code> should probably be somewhere else.
6963320	How do you import a new server certificate into the Gateway keystore.
6963462	Application launch tab does not work in SGD 4.60 localized Administration Console.
6964177	XFSv2 cross-frame scripting vulnerability.
6965565	Exception thrown in <code>catalina.out</code> when logging in or out of the Administration Console.
6966338	<code>tarantella security enable</code> command with a Thawte test certificate fails to accept root or intermediate certificate.
6966795	Secondary server needs to be restarted to pick up bean property changes.
6966878	Search filter change is not used globally.
6966937	SGD has two connections to domain controller and global catalog.
6967576	JavaScript disabled warning message improperly aligned.
6967749	Entering new password that is too short does not let you enter another new password.
6967860	<code>tarantella status</code> command shows unable to convert date-time string error.
6968337	PDF printing fails on Solaris OS Trusted Extensions. GPDF reports the file is damaged or does not seem to exist.
6968598	Bad behavior with multi-screen Mac OS X and Sparc server (piano).
6968772	Keymaps: Windows client and Swiss German keyboard.

参照	説明
6969040	Shadowing does not work.
6969452	Clicking 'Return' after entering password does not attempt login.
6969904	Cannot load-balancing JSP to work.
6970530	SGD should work with SELinux in enforcing mode.
6970615	<code>securid.exp</code> needs updating to support SecurID PAM agents.
6970836	Issues with third-party authentication and LDAP.
6970897	"Logged Out" page has no login button.
6970935	Dead key and space key behavior not correct for Windows client and UNIX applications.
6971668	Unable to launch applications on unknown Linux application servers.
6973527	Printing from Widows Server 2008 r2 using MS Publisher imagesetter driver and Solaris OS default Ghostscript version causes "error, job success".
6974160	SGD Enhancement Module installer does not add necessary registry keys.
6974420	Error when trying to resume an application across the array.
6974458	Windows desktop does not display correctly on Mac clients.
6974473	SGD Client crashes after resuming to a different browser on same client when saving data to mapped drive.
6974537	SGD has issues with Japanese Hankaku, Zenkaku and Kanji keys on UNIX clients.
6974820	Alt text on the Login page is not localized.
6974978	Pasting from local Linux (Ubuntu) to remote Solaris OS crashes <code>gedit</code> .
6975315	SGD Enhancement Module install dialog is not as pretty as it might be
6975665	Axis services list page reports an error.
6976202	Keyboard map for X applications cannot be unlocked in the Administration Console.

version 4.50 で修正されたバグ

次の表に、4.50.933 リリースで修正された追加バグの一覧を示します。

参照	説明
6690758	Mac client keyboard combinations not sent to Windows 2003 application.
6806240	Active Directory authentication, issues when configuring using the Administration Console.
6842496	Keyboard input issues in kiosk mode for Mac OS X 10.5.7.
6842532	Kiosk mode issues for Mac OS X.
6849891	Upgrade causes tarantella start to fail.
6870510	Empty LDAP groups not found for searches using Administration Console.
6872934	SGD Client does not start on non-Java clients running Japanese versions of Windows.
6874184	Active Directory authentication fails when user name includes umlaut characters.
6879788	Invalid credentials errors when using Active Directory authentication.
6890490	Seamless windows applications fail on KDE.
6890996	Intermittent array stability issues.
6893011	Apache web server security vulnerabilities.
6893767	Audio issues for Remote Desktop Connection applications.
6898102	Password cache issue with JDK 6u16.

次の表に、4.50.907 リリースで修正された重要なバグの一覧を示します。

参照	説明
6357003	Native client cannot launch browser on Solaris.
6574482	Update Kerberos to version 1.6.1.
6598774	TEM download page only refers to Windows 2003 and Windows 2000 servers.
6600671	Audit logging does not show who made changes to SGD configuration.
6616090	SGD servers show fatal errors.
6616750	Preferred language is ignored when using load-balancing JSP technology page.
6620262	Login theme attribute is still available on the command line.

参照	説明
6621444	Issues with Portuguese Brazilian ABNT2 X keymap.
6623676	Changing the primary server takes longer than expected using the Administration Console.
6629773	Administration Console reports error and exits when browsing LDAP.
6630326	ldapconn and ldapconn-lookup cache threads are not shut down correctly after use.
6631617	Array operations need to be faster and more resilient.
6634621	Certificate validation mechanism does not explore all possible certificate paths.
6655169	Expired password cannot be changed for some application servers using authentication dialog.
6664607	Detached offline secondary does not update to standalone when brought back to the array.
6664789	Some array members have an incorrect license count after a remaster.
6665303	tarantella status command reports incorrect session count.
6667697	Double-byte group name causes HTTP 500 error.
6670924	Offline secondary server is detached when brought back to the array after a make_primary operation.
6677639	Welcome page modules link issues when Japanese language selected.
6682124	Flushing cached LDAP configuration using tarantella cache --flush command does not work.
6684256	Session refresh issue for objects with Japanese names.
6690579	Load balancing issues mean applications will not start and SGD cannot create new user sessions.
6695309	Remove internal DNS names for cookies and tokens passed to client from SGD Gateway.
6696945	Administration Console labels not updated when changing browser language.
6700455	Load Management column is present in Licenses table.
6706081	SGD server warningerror logs are sent to standard error output.
6707889	Administration Console fails during array join for an SGD server that is disconnected from the network
6707912	Administration Console issues after detaching secondary from an array.
6708340	Ghostscript test file sample.pdf in var/log directory instead of var/info.
6708972	Warning message for silent shadowing is truncated.
6709596	SGD server object should be created using server name provided during install.
6710929	xfrenchcanadian.txt keymap is not loaded while starting SGD applications.

参照	説明
6711024	No audio output from Windows 2003 server application for SLES 9 Sun Ray client.
6712191	Missing default realm in <code>krb5.conf</code> file causes Active Directory integration problems.
6712756	Connections to a down server on Solaris cause long delays in array operations.
6712821	Czech QWERTY keyboards: Issues with S caron in Windows applications.
6713230	Auto-switching keyboards for Sun Ray client devices.
6713241	F11 key presses are ignored on Japanese installation.
6713366	Some translations missing from localized <code>SOAPResources.properties</code> files.
6714419	Poor usability when shadowing a low bandwidth connection.
6714906	SGD Gateway web server incorrectly determines HTTP protocol for client entry point.
6715694	Active Directory authentication takes a long time or times out.
6716562	<code>tarantella cache --flush krb5config</code> command fails if using Active Directory client certificates with no LDAP credentials in password cache.
6716771	Client printers not created on Windows 2008 server when connecting from UNIX clients.
6717020	Spool file is not deleted immediately after using PDF printing.
6718248	Issues with user-renamed PDF printers.
6720092	Timezone redirection issues with Windows applications.
6720778	<code>ttaxecpe</code> process generates core files during array scalability testing.
6721163	Enhancement Module download page only refers to Windows 2000/2003 server.
6721683	Localized help links remain on webtop after an upgrade, but point to invalid targets.
6723117	Active Directory integration does not recognize a Global Catalog host as being the same as a Domain Controller host.
6724489	My Desktop connection status message is not localized.
6724911	Issues when creating new applications with Kanji names using the Administration Console.
6725323	Unable to launch multi-byte named application from Start menu when using Integrated mode.
6725479	SGD Client does not dock in the icon tray.
6725495	Mac OS X clients: Caps Lock key not synchronized correctly.
6725847	Unable to run Windows applications using Fedora Core 8 SGD server.
6725890	Array join failure using Administration Console on secondary server.

参照	説明
6727951	Hangul/English toggle key on Korean keyboard fails to toggle input correctly.
6728903	Application sessions for anonymous and shared users are orphaned on SGD server restart.
6729370	Querying Domain Controllers for user information should be disabled by default.
6729727	CWM windows on CDE desktop client minimize and move off screen.
6729916	Delivering server-side events via an SGD web server-JServer connection.
6730044	Administration Console fails for Active Directory LDAP searches with Chinese characters.
6730384	Primary SGD server failed on repeated login-logout tests.
6731391	If LDAP server fails, all SGD user sessions are terminated.
6732007	SecurID server list cache thread on the SGD server is not killed.
6732158	SGD Client exits after a window is closed from Quick Test Pro.
6734004	Users with Portuguese characters in Active Directory common name lose sessions periodically.
6734801	Client's Maximum Size is not calculated correctly on Linux desktops.
6734852	LDAP call always result in cache miss when missing attributes are requested.
6734906	Apache error_log file contains lots of "Network is unreachable" messages.
6736670	Windows application becomes unresponsive whilst scrolling.
6737141	Null pointer exception on login for users with 8-bit character in ENS name.
6738055	LDAP error logging can be uninformative and misleading.
6738069	Caught exception from adminSearchSession SOAP method.
6741559	Copy and paste problems with some Solaris 8 based OpenWindows binaries.
6741912	Administration Console fails to find non top-level LDAP objects without a base DN and a namingContexts attribute.
6742027	Installation of SGD appears to hang.
6742916	Issues with routing token redirection for Session Directory.
6744667	Web services client applications need to specify an IP address when using the SGD Gateway.
6744683	Window minimize issues for Borland applications displayed in seamless mode.
6745306	Windows + Tab key combination not working correctly in kiosk mode.
6746165	SGD Gateway RPM install on SUSE fails with dependency errors.
6747873	Intermittent Active Directory LDAP authentication failures.

参照	説明
6748390	Expired CA's cause security warnings even when another valid CA exists.
6748744	Active Directory site discovery creates alarms that are dereferenced and never cancelled.
6749795	Null pointer exception in SGD log after logging out.
6750824	Web service optimizations and bug fixes.
6751874	Support multiple SKID keys for ASAD and SOAP connections to and from the SGD server.
6752431	Zombie process will not go away until SGD is restarted.
6754059	All other SGD applications are terminated when an application generates an event.
6754667	Adding an array member and removing another results in blocked threads.
6755152	Multiple Java null pointer exceptions in log files.
6755153	Webtop shows incorrect state for applications that are not resumable.
6755238	SOAP fault shown when logging out of My Desktop.
6755548	Option to resume printer state in My Desktop.
6756523	Client Window Management application issues after upgrading to JDK 1.6.
6756705	SGD Client does not run on OpenSolaris 2008.05.
6756755	<code>ttarandom</code> error messages shown in terminal window.
6757351	<code>tarantella security enable</code> command fails and deletes the private key.
6757757	Client Window Management dialogs do not stay above parent windows.
6757813	Active Directory password expiry only works if the <code>system krb5.conf</code> file is configured.
6761804	Login button on the log out splash screen is disabled.
6763485	Default window coordinates are inconsistent when using Client's Maximum Size attribute for Independent Window window type.
6763877	Mac OS 10.5.5 users unable to start SGD Client due to X11 changes in OS updates.
6765600	Proxy provider errors when logging in to SGD.
6765940	Unable to print when Active Directory user name includes German umlaut character.
6766896	Array members detached from array.
6767773	Secure Apache <code>httpd.conf</code> configuration file needed for SGD.
6767845	Multiple LDAP servers do not work as expected on LDAP server failover.

参照	説明
6767846	Exception thrown when using invalid search string in LDAP Directory Service Integration assignments.
6767847	Error messages seen in log files when using eDirectory with SGD.
6767848	LDAP groups not searchable when using eDirectory with SGD.
6767849	SGD does not prompt for password change after LDAP password expiry.
6769028	SGD Client does not autostart on desktop login to Solaris 10 x86.
6769538	Shadowing fails on Red Hat Enterprise Linux 5.1.
6770071	Issues when changing peer DNS name of an SGD server.
6771177	Power failure on Windows application server causes SGD Windows applications to freeze.
6774869	tarantella security enable command throws retcode error.
6776988	Administration Console fails if LDAP structure is changed from that used in an SGD LDAP search.
6777016	Active Directory and LDAP configuration settings are not replicated correctly.
6780540	LDAP operations result in unnecessary InterruptedException messages.
6780772	SGD server hangs when not using FQDN and trying to login with Integrated Client.
6783263	Input language switching issues for Windows applications when 3-letter code is used.
6784049	Aged password handler issues with SLES 10 application server.
6785563	SGD Client starts the wrong browser for logging in using Integrated mode.
6786285	Slow application launch due to port conflicts.
6786834	MyDesktop object not created for a Gnome desktop on SUSE 10.0.
6789743	Resuming printing for My Desktop application.
6790513	More detailed information when an array is in an inconsistent state.
6790936	Terminal type not being set when starting character applications.
6791016	Improvements for audit logging.
6791507	Killing browser generates an invalid session cookie error.
6792195	Users unable to launch applications in an array after sudden loss of a node.
6793043	Unable to lock XPE reliably using ttatssc on SGD 4.41.
6793493	Korean/English and Hanja keys of Korean PC keyboard do not work on Solaris client.
6793569	Array join using host short name fails and does not replicate licenses correctly.

参照	説明
6793749	VT420 emulator does not render some graphics characters correctly on OpenSolaris.
6794082	Korean/English and Hanja keys do not work on Solaris client.
6794618	Cross frame scripting vulnerability.
6794839	Accent characters not reproduced correctly for German locale.
6795598	ttatdm.exe process causes high CPU usage on the application server.
6796137	Corruption when resizing CWM windows on Ubuntu 8.10.
6796636	Extra space added after typing “^” and “~” in a Japanese environment.
6797226	Administration Console result tables do not render correctly on Internet Explorer 7.
6797638	Cannot log into Active Directory server after a period of time
6798637	SGD Terminal Services Client on UNIX platforms fails to get a licence from Windows 2008 servers, but still connects.
6798689	tarantella security disable command removes CA certificate file.
6800499	Japanese Kana mode does not work with Xsun.
6800609	SGD Client dialog box font issue.
6801579	Windows SGD Client cannot enable Kana mode for Solaris applications.
6801662	Connecting via the SGD Gateway displays an Error Page message.
6802223	Message dialog for the SGD Client Helper does not have Sun branding or localization.
6802466	ttaxpe repeatedly maps and unmaps client devices.
6802468	Horizontal mouse scrolling hangs emulator session on Mac OS X.
6802869	SWM applications lock up OpenSolaris desktop.
6802907	ttaxpe crashes when running Administration Console on SPARC Solaris.
6804663	Alternative PDF viewer setting is not saved when using the SGD Gateway.
6804665	Add Evince to default list of PDF viewers for improved out of the box support for Ubuntu.
6805205	Comma on Numpad on German keyboard does not work in Windows session.
6807562	CWM windows z-order issue with Solaris clients.
6809756	Some Chinese and Taiwanese localized strings are not displayed in the Connection Progress dialog.
6810518	Default My Desktop application does not exit when you log out on Red Hat 5.1.

参照	説明
6811627	Expect script update for Smart Card Input Method (SCIM) on SUSE 10.
6811796	egrep syntax error when checking ssh X11 forwarding flag during SGD installation.
6813543	tarantella array command usage message wraps incorrectly on 80-character terminals.

version 4.41 で修正されたバグ

次の表に、4.41 リリースで修正された重要なバグの一覧を示します。

参照	説明
6489154	Window focus issue when applications run in seamless window mode.
6498460	Text is not displayed properly after resizing of screen. Characters overlap or are too far apart.
6506571	SGD Enhancement Module upgrade on Solaris fails to merge <code>client.prf</code> file.
6508202	Em-size/normal-width change in Japanese.
6524429	Windows XP Home client takes a built-in license, instead of a Windows 2000 CAL.
6531922	Seamless windows are not launched after clicking the Close button on the remote application.
6532001	Active Directory: PKI expired password fails to prompt for new password.
6536434	Korean keyboard does not work correctly with SGD.
6557536	Initial post-launch focus misleading in SGD application window.
6557568	Unexpected focus change with loss of input focus.
6568484	Name of application using seamless windows is not displayed in Japanese, but displays correctly using a full screen.
6570049	Blank webtop when user DN contains <code>"/</code> .
6572217	Webtop hints attribute is missing from Administration Console.
6589194	CPU load based load balancing algorithm providing skewed results.
6591022	Num Lock state unstable with SGD 4.31.905 patch for Num Lock and Caps Lock state issues.
6591516	Page transitions not working in Internet Explorer.

参照	説明
6592699	Accent characters, tonos and dialytika, do not work correctly using Greek keyboard.
6594537	Improved user experience and warning messages for firewall traversal mode.
6600335	“Hangul” and “Hanja” keys fail on WinXP client with Korean USB keyboard when running Windows terminal services applications.
6609001	Cannot detach a stopped secondary server using the Administration Console.
6612935	SGD Client shows blank logout menu items on Gnome panel.
6615864	Secure and non-secure content on Add Assignment page.
6615864	Internet Explorer Warning Messages When Accessing the Administration Console Over HTTPS.
6616296	Copy and paste from X-based 5250 or 3270 application to local Windows Notepad does not work.
6617987	Erratic behavior seen on creating a user object with inverted commas.
6618516	tttaauxserv reports fatal error and exits when file descriptor limit is reached.
6620254	Num Lock and accent acute characters on Portuguese keyboard do not work as expected.
6620268	Classic webtop attributes still available.
6621456	Enabling “Establish proxy settings on session start” in profile does not work.
6621911	Accented characters not properly emulated on Sun Ray™, from es_MX ISO8859-1.
6623775	Need to secure Active Directory queries without using client certificates from the Active Directory server.
6624044	The server/webtop/* logging filter is incorrect.
6624122	Copy and paste does not work with Windows application as non-root user in Trusted Extensions environment.
6624795	Title on minimized Internet Explorer incorrect when using seamless windows.
6625786	Session is cut off when accessing specific URL through a Windows desktop.
6629782	Ambiguous login and SecurID dialogs are not localized.
6630832	PDF printing fails on Solaris OS 8.
6632864	Errors in 4.40 datastore reorganization on upgrade.
6633342	Access Denied errors when accessing mapped drive with SWIFT application.
6633363	Third tier authorization dialog does not accept keyboard input in Mac OS X 10.5.1.
6633389	Cyclic links for application groups not upgraded correctly.
6634373	Log Active Directory errors more concisely.

参照	説明
6634689	4.40 datastore reorganization does not handle dc trees very well.
6635919	-no-browser option required for ttatcc command.
6636787	Documentation for securing SOAP is unclear.
6638874	SGD Client crashes due to partial packet receipt.
6639470	Creation of new object not possible when Security Warning alert notifications enabled.
6639655	X server security vulnerabilities.
6640141	Exception caused by LDAP search on Assigned User Profiles tab for an OU in the Applications organization.
6641356	Extensible LDAP search filters are not validated correctly.
6641475	LDAP user attribute isMemberOf should be in the reverseAttributes list by default.
6641538	Documentation on cache --flush krb5config should include information about what it affects.
6643772	Unable to resume My Desktop session.
6646817	The printertypes.txt file needs to be updated.
6649163	SGD leaves “white screen” when Windows session is grabbed by Sun Ray client.
6650200	“Potentially unsafe connection” warning dialog presented repeatedly to users in an unsecure environment.
6650334	Difficulties in “mirroring” LDAP in ENS, based on groups, with LDAP profiles on OU.
6651582	-n option displayed on output during certificate request.
6653001	SGD Client crash when cancelling paste action in Trusted Extensions Sun Ray client.
6653019	Suspended Windows session causes ttatcc to consume 100% of CPU resources.
6653024	Authentication token information does not get updated in profile when changed a second time.
6654565	JDK change has changed keytool commands.
6655852	SGD Client fails on Ubuntu when Extra Visual Effects are enabled.
6658738	Application session load balancing is not firewall friendly.
6659812	Escape key and window close button are not working in View Certificate Details message box.
6661505	Active Directory Global Catalog and Domain Controller hostname sorting is incorrect.

参照	説明
6661507	"Failed to Find Site Objects" Active Directory error should be downgraded.
6663148	SGD server stability issues.
6663754	My Desktop feature fails if second webtop entry My Desktop2 exists.
6664301	New primary server detached unexpectedly when old primary server becomes available.
6667259	SGD Client by default is paused when printing.
6668963	Array join issues for two servers with different configurations for secure intra-array communications.
6670774	Array join on secure intra-array communications-enabled servers fails in certain scenarios.
6670843	Array make_primary option is not working in the Administration Console.
6671528	Absence of Java not detected on Windows client using Internet Explorer 6.
6673906	Licenses replication issues after array remaster.
6678939	Network printers are not appearing in Windows sessions.
6679810	Documentation for CommandExecutionFailed or Error 7 should also mention permissions on the /tmp folder on the application server.
6679845	Sun Ray DTU ID required for Windows terminal services sessions.
6680413	ttatssc core dumps with Solaris patch 119060-38.
6682124	Flushing a cached LDAP configuration using tarantella cache --flush does not work.
6685521	Login to SGD webtop fails after upgrade from 4.31.
6686727	Administration Console: New Object pop up needs scroll bars.
6689236	How to use load balancing JSP for My Desktop functionality.
6689502	Entering application command line arguments in the Administration Console.
6690301	SGD Client crashes when using OpenOffice from SGD webtop.
6692376	SGD Client pegged at 100% CPU, fails on authorization of Windows application running OS X Leopard as a client device.
6692620	Unable to interrupt Active Directory discovery timeouts when using default Kerberos credentials.
6693487	Unable to write to CDM drives using Office 2007.
6693489	Invalid session cookie causes JSP error with French locale.
6693496	Browsing to Info->Detailed Diagnostics immediately after login fails.
6693498	SGD Client Motif dialog has large icons on Solaris 10u4.
6693505	Microsoft Word 2007 does not maximize correctly on Solaris 10u4 desktop.

参照	説明
6693508	Microsoft Word 2007 claims to start in German locale on Solaris 10u4 desktop.
6693516	Window close operation not handled correctly in GIMP on Solaris 10u4.
6693972	Internet Explorer browser hangs on connection with obsolete JRE 1.3.
6694481	Restricting the LDAP search when the ou= has multibyte characters fails to authenticate user via LDAP authorization to Active Directory.
6695371	Copy and paste between two protocol engines crashes ttaxpe.
6695876	Misleading load balancing error message in log.
6697034	Create button remains inactive for localized characters input.
6698552	X application launch failure seen in certain scenarios with "Unknown Terminal" error.
6698730	No errors displayed to user when the SGD application shortcut is no longer valid.
6699329	tarantella security fingerprint command shows wrong fingerprint.
6699873	Certain keys do not work with Turkish keyboard in Windows sessions.
6700449	Protocol argument (-dir) for Windows applications does not work with cmd.exe.
6701438	2X load balancer does not work with SGD.
6702069	Seamless display method does not work correctly for applications on Windows 2008.
6702822	Solaris Trusted Extensions: kiosk mode area should be below the Trusted Extensions stripe area.
6703066	Solaris Trusted Extensions: Xerror in call to XSelectInput via copy and paste incremental selections.
6704749	Print job size does not match in webtop and command line.
6704925	Problems with portuguesebrazilian_abnt2 keyboard.
6705544	Terminal services CALs for users with parentheses in their CN are not reused by SGD.
6707001	Missing apostrophes in French translations.
6709037	Mouse over tooltips in an seamless windows session causes the SGD Client to crash.
6710067	Unicode to keysym table maps the Unicode for EuroSign to the keysym for EuroSign.
6710510	Solaris array operations take a long time to respond when other array members are down.
6710580	Printing status: potential null pointer exception in opt.jsp.

参照	説明
6710927	Log in menu item not completely seen on Sun Ray client start menu.
6712258	Missing information for InvalidSessionCookie error string in localized versions.
6712649	Integrated client login fails with StringIndexOutOfBoundsException exception.
6712721	Garbled characters are displayed in localized authentication error message for all languages.
6714996	Active Directory authentication does not fail over to the next Global Catalog.

version 4.60 でのドキュメントの問題

ここでは、4.60 リリースのドキュメントに関する既知の問題の一覧を示します。

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- 82 ページの「ドキュメントに含まれる、廃止された `--force` オプション」
- 83 ページの「「SGD Remote Desktop Client」の節の修正」
- 83 ページの「X プロトコルエンジンのポートの競合を回避する」
- 83 ページの「`--suffix-mappings` オプションのドキュメントの修正」
- 84 ページの「`tarantella object new_windowsapp` コマンドの修正」
- 84 ページの「`tarantella config reload` コマンドのドキュメント」
- 85 ページの「「Windows Audio Sound Quality (Windows のオーディオの音質)」属性の修正」
- 85 ページの「「Upgrading the SGD Gateway」の修正」
- 86 ページの「印刷のトラブルシューティングトピックの修正」

ドキュメントに含まれる、廃止された `--force` オプション

『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』の付録 D に `tarantella stop` および `tarantella restart` コマンドの `--force` オプションが誤って記載されています。

`--force` オプションは 4.6 リリースで廃止され、使用できなくなっています。

「 SGD Remote Desktop Client 」の節の修正

『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド 』の 152 ページに記載されている SGD リモートデスクトップクライアントのコマンドオプションの表で、
-windowskey オプションのデフォルト 設定は on であると誤って記述されています。

-windowskey オプションのデフォルト設定は off です。

X プロトコルエンジンのポートの競合を回避する

リリース済みのドキュメントには、アプリケーションのトラブルシューティングに関する次のトピックが抜けています。

別のサービスで使用されている X ディスプレイポートを SGD が使用しようとする、アプリケーションの起動に予想以上に時間がかかる場合があります。アプリケーションの起動は最終的に正常終了します。

これを解決するには、このポートを X プロトコルエンジンで使用しないように除外します。

Administration Console で、アレイ内の各 SGD サーバーの「プロトコルエンジン」→「X」タブに移動し、「コマンド行引数」フィールドに `-xport portnum` と入力します。ここで、*portnum* は、除外する TCP ポートの番号です。

または、次のコマンドを実行します。

```
$ tarantella config edit --xpe-args "-xport portnum"
```

複数のポートを除外するには、次のように `-xport portnum` を複数回指定します。

```
$ tarantella config edit \  
--xpe-args "-xport portnum_1" "-xport portnum_2" "-xport portnum_3"
```

行なった変更は、新しい X プロトコルエンジンでのみ有効になります。既存の X プロトコルエンジンに影響はありません。

--suffix-mappings オプションのドキュメントの修正

`tarantella service` コマンドの `--suffix-mappings` オプションについて、正しく記述されていません。

『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド 』の付録 D の 820 ページと 825 ページのコマンドオプションの表で、次の段落は正しくありません。

「 Active Directory サービスオブジェクトにのみ適用されます。」

この段落は次のように修正されるべきです。

「 Active Directory サービスオブジェクトおよび Active Directory に接続されている LDAP サービスオブジェクトに適用されます。」

『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド 』の第 2 章の 98 ページにある「 Suffix Mappings 」の最初の文は、次のように修正されるべきです。

「 次の情報は、 Active Directory サービスオブジェクトおよび Active Directory に接続されている LDAP サービスオブジェクトに適用されます。」

tarantella object new_windowsapp コマンドの修正

このリリースでは、tarantella object new_windowsapp コマンドを使用して新しい Windows アプリケーションオブジェクトを作成するときに、「 Window Manager (ウィンドウマネージャー) 」 (--winmgr) 属性が使用できません。

『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド 』の付録 D の 744 ページにある tarantella object new_windowsapp コマンドのドキュメントで、誤って --winmgr 属性が記載されています。

tarantella config reload コマンドのドキュメント

tarantella config reload コマンドの詳細が、リリースされたドキュメントから欠落しています。

次の情報が、『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド 』の付録 D の 688 ページにある「 The tarantella config Command 」に含まれるべきでした。

tarantella config reload

コマンドが実行されるサーバーのプロパティを再ロードします。

形式

```
tarantella config reload [ --login-beans ]
```

説明

次の表は、このコマンドで使用可能なオプションを示しています。

オプション	説明
--login-beans	com.sco.tta.server.login.DSLoginFilter.properties など、 認証に関連するサーバープロパティを再ロードします。 このオプションを使用すると、サーバーを再起動せずに、副サーバーの プロパティを再ロードできます。

使用例

次の例では、コマンドが実行されるサーバーのすべての認証プロパティを再ロードします。

```
$ tarantella config reload --login-beans
```

「 Windows Audio Sound Quality (Windows のオーディオの音質) 」属性の修正

『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド 』の付録 A の 468 ページにある
「 Windows Audio Sound Quality (Windows のオーディオの音質) 」
(--array-audio-quality) 属性のドキュメントが正しくありません。

「 高音質オーディオ 」の設定の説明は、次のように修正されるべきです。

- 「 高音質オーディオ 」 - 44.1 kHz.

「 Upgrading the SGD Gateway 」の修正

『 Oracle Secure Global Desktop 4.6 Gateway 管理者ガイド 』の 5 ページにある
「 Upgrading the SGD Gateway 」の次の文が正しくありません。

「SGD Gateway をアップグレードしても、キーストアやルーティングプロキシ設定ファイルなど、元の設定は保持されます。アップグレード後、SGD Gateway を再設定する必要はありません。」

この文は次のように修正されるべきです。

「SGD Gateway をアップグレードしても、ルーティングプロキシ設定ファイルなど、元の設定はほとんど保持されます。ただし、アップグレード処理によって、Gateway で使用される自己署名証明書はすべて上書きされます。

アップグレード後、SGD Gateway を再設定する必要があります。16 ページの「How to Install SGD Gateway Certificates on the SGD Array」で説明されているように、SGD に対して Gateway を認証するための標準の設定手順を実行してください。

アップグレード後の SGD Gateway の再設定については、58 ページの「6963320 – SGD Gateway version 4.5 またはアップグレードされた SGD Gateway version 4.6 を使用して SGD に接続できない」を参照してください。

印刷のトラブルシューティングトピックの修正

『Oracle Secure Global Desktop 4.6 管理者ガイド』の第 5 章の 250 ページにある「For PDF Printing, is Ghostscript Available on the SGD Host?」の印刷のトラブルシューティングトピックで、次の文が欠落しています。

「最新バージョンの Ghostscript にアップグレードしてみてください。アップグレード後、シンボリックリンク /opt/tarantella/var/info/gsbindir が新しい Ghostscript バイナリがインストールされているディレクトリを参照していることを確認します。」